

大谷大学広報

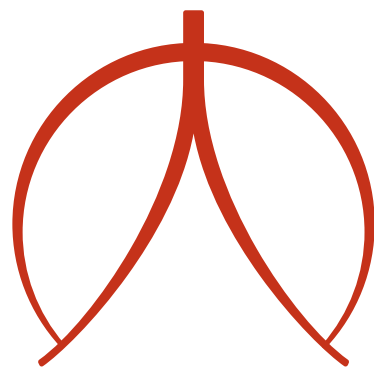
編集 大谷大学広報編集委員会

No.154

2003年7月10日

2003

夏



冬扇

現在の農業は殆ど機械化されたが、私が子供の頃は、農耕のための牛をあちこちの農家で飼っていて、それがときどき逃げ出した。蹄で蹴割られたキャベツ、畑に深々と残された足跡は、逃げた牛の怨恨、憤怒、熱情を現している、子供心に畏敬の念さえ抱かせた。奴は、逃亡し去って行方不明になるに違いないと思われた。ところが、主人の方は、昼寝をしてお茶を飲んでからやっと探しに出掛け

て、夕方、村外れでボンヤリしている牛を捕まえ、牛は今、家に戻って飼葉を食っていると聞いたときは、実のところ拍子抜けの感を覚えた。牛は脱出時のパトスを、逃げているうちに、忘れたのだ。

人間の歴史において、試みられた逃亡の数は牛の比ではない。現代哲学はイロニ - や脱構築、さらに逃亡という言葉まで用意して、逃亡を讃えさえした。ところが、大概がうやむやに終わったのは、初心が不明確であったか忘れられ

たからであろう。唯一の例外は釈尊である。彼は、青年のとき、自己のうちに病者や老人や死者を嫌悪し軽蔑している自分を発見して愕然とした。その自分のうちにひそむ驕慢にこだわり、家を出て逃亡し去った。彼が如来と称されるのは、逃亡の果てにそのこだわりを超える道を発見して戻ったからである。人間の凡夫たる所以は、どうもそのこだわりを解決するまえに忘れてしまうことにあるようだ。 (長谷 正當)

夏休み 大学生の宿題？

「夏が来れば思い出す～」のはキラキラ太陽？ミンミン蝉の声？でも、夏と言えばやはり夏休み！そして、夏休みといえば宿題！！「これさえなければなァー」と嘆いた少年時代を思い起こす人も多いはず。今回のテーマは「大学生の宿題？」。大学生になって、先生から課されることが少なくなった「宿題」について、多くの方々から、今夏の自分への課題として、あるいは、日頃できない学びの経験として文章を寄せてもらいました。

今の大学生とかつての大学生が自らに課した夏休みの「宿題」とはどのようなものなのでしょうか。

夏休みという期間を利用して



神部阿惟

あまりにも長い夏休みに、第1学年の時は面喰らってしまった。何しろ高校の時の夏休みなどは、1ヶ月にも満たない短いものであったから、なおさら大学の夏休みの長さに驚いてしまったのである。去年はそんな夏休みの期間を見て、まず「何をしよう？」と心浮かれていたのをよく憶えている。

高校の時などによくやりがちだったのが、毎日をただダラダラと過ごし、いつの間にか夏休みが終ってしまっていた、というパターンである。計画性も何もあったものじゃなく、無駄に過ごしていたわけだ。大学の夏休みは、相当長いものであるから、そのダラダラしてしまうパターンにうっかりはまったりすると、抜け出せなくなってしまふ。そういう事態だけは、絶対に避けようと心に決めて、暇

になることなるべくなくなるよう、色々とスケジュールを埋めていった。

何でも良いからとりあえず、ポーッとするようなことはやめるのである。これが口で言うほど、なかなか簡単ではない。それでも去年は、例年には無い忙しい夏休みであった。

めったに帰れない実家へまず帰って、家の手伝いなどに精を出したり、いつもはゆっくり読めそうもない分厚い本を読んだりなど、慌しいが楽しく充実した日々を送ることができた。特に感慨深かったのが、普段あまり知る機会のない故郷の良さがわかったことである。私の故郷は北海道なのだが、夏休みという長い期間を利用して北海道旅行をしてみた時、改めて故郷の良さを知った。今までは京都に憧れて故郷にはあまり見

向きもしなかった部分も私にはあったのだが、旅行を通してまだまだ故郷も捨てたものじゃないな、と思った。

有意義という言葉があてはまった夏休みとは、去年のようなことを言うのかもしれない。今年もスケジュールをまた色々と埋めていくのが楽しみだ、と言いたいところではあるが、去年のように楽しい夏休み、というわけにはいかないかもしれない。卒業研究という曲者が待っているのだ。

これが今年の夏休みの大部分を占めていきそうで、不安である反面、ある意味、楽しみといえば楽しみである。去年卒業研究に取り組んだ先輩たちのアドバイスを聞くと、「卒業研究はなるべく早くとりかかるべきである。」と口をそろえて言う。

やはり卒業研究は、夏休みの内

に資料を集め、考えをまとめてい
かないと、後になってから慌てる
ことになってしまうようだ。そう
いうことを免れるため、夏休みは、
卒業研究に没頭してしまいそうで
ある。私は実家に帰るとよく父と
仏教について話をする。そのこと
も生かして、卒業研究に取り組ん
でいきたい。

この文章を書くにあたって、友
人にも去年の夏休みは何をしてい
たかを聞いてみた。すると人それ
ぞれで、家事手伝いに明けくれて
いた人、休み中毎日のようにバイト
を入れて頑張っていた人、ただ
なんとなく散歩をしてもの思いに
ふけていた人、家にずっとこも

っていた人など、まさに多種多様
であった。

夏休みという時にしかできない
ことをやるのもよいし、逆にいつ
もやっていることの延長上にある
ようなことをやるのもまた、それ
はそれで面白いのではないだろう
か。人によって、楽しみ方は何通り
もある。まあ、楽しむばかりが
夏休みではない。今年の夏休みを
上手に活用し卒業研究に向けて努
力をしていきたい。が、ダラダラ
過ごすまいと思いつつも、ついつ
いそうしてしまうのが私の悲しい
性分である。

(かんべ あゆい)
仏教科 第2学年

若者よ、バイトを休んで、旅に出よう!



織田 顕 祐

今から二十数年前、僕は仏教学
科の3年生だった。4月からK教
授のゼミに入り、『大乘起信論』
というむづかしい書物に取り組ん
でいた。3・4年生合同のゼミで、
当初は4年生の先輩たちが発表し
ていた。後で分かった事だが、K
教授のゼミでは前年からこの書物
を読み始め、僕たちは途中からそ
の書物を読む事になったのであ
る。当然、先輩たちの発表は全く
チンプンカンプンで、その時は、
先輩たちの偉大さをいやというほ
ど感じたのである。先輩たちは、
勉強してない後輩の問題だ、と言

わんばかりに発表を易しくしよう
とはしてくれなかった。そんなこ
とで3ヶ月も過ぎたある時、僕は
友人のA君に聞いてみた。「ゼミ、
分かる?」、A君いわく「ぜんぜ
ん分からん」。そこで2人でK教
授に直訴することにした。「先生、
ゼミぜんぜん分からんのです。先
生には僕たちが分かるようにする
責任があります」。先生はおっし
ゃった。「それでは夏休みに合宿
でもしますか」。思わぬ方向に話
が進んでしまい、僕たち2人は十
数人いた同級生に相談した。結局、
是非やりたいということになり、

C O N T E N T S

- p. 2...夏休み 大学生の宿題?
- p. 8...CAMPUS-TOPICS
- p.15...事務窓口ホームページ化への取
り組み~「学生向け情報提供シ
ステム」を利用しよう!~
- p.16...学問のしおり
- p.17...Keiji Ban
- p.24...「セクシュアル・ハラスメント
防止のためのガイドライン」と
「人権問題相談窓口」について
- p.26...2003年度 同窓会支部
総会・支部巡回講演会開催一覧
2003年度 父母兄弟懇談会
開催一覧
- p.27...2003年度 春季大会結果
- p.28...谷大エリア散策
- p.29...写真でふりかえる
大谷大学今昔
- p.30...出版物紹介
- p.31...大谷中学校・高等学校
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p.32...研究室だより
学会だより
- p.33...TANIDAI FRONT
- p.35...2004年度 入学試験日程
- p.36...学生相談室から
学生数
- p.37...財務の概況
- p.40...SQUARE

表紙のことば

今年の夏はどこに行こう?
チャリンコで北海道一周?
去年行った沖縄の青い海も忘れ
られない。
九州も東北も捨てがたい・・・。
それともバイトで貯めた貯金を
はたいて海外旅行でも?!
夢はふくらむ
計画を立てはじめたその時か
ら、夏はもうはじまっている。

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の
炉や冬の扇のように役にたためことの
意味に用いる。ここでは役にたつた
ない次元をこえて一筋の道に生きる
精神をあらわす。

2人が幹事ということになってしまった。2人であれこれK教授と相談するうちに、いろいろな事がわかってきた。大学の近くで合宿するには相当のお金が必要なこと。夏休みといっても、K教授には多くの仕事があり、特に住職をしている寺の仕事はその時に集中的にしなければならないことなどである。そこで、K教授は提案された。「私の寺で合宿してはどうか。それなら何とかなるように思うが・・・」。それで僕たちは先生の御自坊で合宿する事になった。しかし、その御自坊はなんと北海道のオホーツク海近くのK市だったのである。一応、予定だけは決めたものの、本当に皆が集まるかどうか、僕もA君も半信半疑だった。金の無い僕は、友人や先輩の実家に泊めてもらいながら、夜行列車や連絡船を乗り継いで、6日かけてK市にたどり着いた。後で聞いた話だが、参加した2人の女子学生の不安は僕たち以上に、もしも誰もこなかったらその

まま帰るつもりで、見晴らしのよいK市の駅ビルから仲間が地元のバスに乗るのかどうかを監視していたそうである。結局、8名が参加して合宿は実現し、御自坊のお米や畑の野菜をいただいて自炊した。そして、僕たちは自分たちが想像した以上に勉強した。何せ、先生の御自坊は、本当に静かなところで勉強以外にすることが無かったのである。

暇があるときには金が無く、金があるときには暇が無い、両方あるときは体力・気力が無い。これは昔からの真理である。だから、暇があるときに金を使わない方法を編み出すか、金がある時に暇を作りださなければ結局何もできない。僕のこれまでの数十年の経験からみて、最も時間に余裕があったのは大学生の夏休みである。そして、それは誰にでもあるというわけでもなく、毎年必ずやってくるというものでもない。そんなかけがえの無い時間が今君たちに与えられようとしているのである。

ただ金が無ければ何もできないじゃないか、と反論する人もあるだろう。しかし、そう考える人は金を手に入れても結局何もできない人なのではないか。一步踏み出せば、この世の中には面白いことが限りなくある。僕は以前、暇だった(つまり、金が無かった)頃、夫婦で京都から大阪まで12時間かけて歩いたことがある。一日中、話しばなしで本当に楽しかったが、こんなことは金が無い時ぐらいいしか思いつかないものである。『森の生活』という名著を残した、アメリカの作家ソローは、「最も安価な楽しみを持つ人が最も富める人である」と言っているそうだが、我が意を得たりである。

ところで、例の『大乘起信論』は、その後、僕の生涯の課題のひとつとなり、二十数年たった今も、大学院生とともに講読している。

(おだ あきひろ)
助教授 仏教学

また会いましょうの海



北川 篤子

去年の夏休み、初の海外旅行を経験した。ピースボートというNGOの主催で、私の初海外旅行は初船旅だった。期間は8月15日からの2週間。訪問先は、私が以前から興味があった朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)と韓国。さらに、サハリンと、当時某ハウス(友好の家)でワイドシヨ

一の主役となっていた国後島。普段では、簡単に訪れることのできない場所だったからこそ、私の心は即決できたのかもしれない。

共和国では、3人の同年代の人と交流することができた。平壤外語大で日本語を学ぶ男性2人。それと平壤最終日に開催された、フェスティバルで出会った女性だ。

3人との別れの挨拶は「また会いましょう」だった。日本語を学ぶ男性たちとは日本語で。フェスティバルで出会った女性とは、言葉は通じなかったが、その時撮った写真に添えてあったメッセージが「また会いましょう」だったので(訳してくれた友人に、感謝)。共和国と日本。いまだ、正常な国交

は結ばれていない。横たわる数々の問題は、簡単に解決を見ないだろう。けれど、私は3人との「また会いましょう」の言葉を信じたい。両国の歴史と、今なお残る問題を受け止めながらも、私は共和国と共にある未来を信じたい。軍事境界線にも訪れた。映画『JSA』の影響でミーハーな気持ちが、正直あった。しかし、現実に対峙する北と南を見て、胸が苦しくなるものがあった。地下鉄に乗ったり、従軍慰安婦だった女性の話の聞いたり、少年宮殿でコンサートを鑑賞したり・・・本当に勉強になった3泊4日だった。

韓国では、とにかく凄まじいエネルギーを感じた。ワールドカップ競技場も見学したのだがなるほど韓国サポーターのあのエネルギーはこの国全体の熱気から生まれたのだなと感心したほどだ。買い物も楽しめたし、ピビンバとチヂミも、それはそれはおいしかった。

食続きだが、サハリンで食べたイクラも、今まで食べてきたイクラを疑うほど絶品だった。市場で

出会った、この地に留まらざるを得なかった、コリアンのおばあちゃんからもらった木の実も、とてもおいしかった。おいしいという幸せからくる笑顔は、言葉を超えるようだ。

国後島では、オホーツク沿岸をハイキングするという機会があった。寒風が吹きすさび、足場は最悪で、疲れ果てた私をさらに放心させたのは、昼食のために訪れた友好の家だった。何だこれは、拍子抜けしてしまった。一言で言ってしまうとそれほどのものだった。日本のワイドショーがいかにか誇張して、大袈裟に伝えていたのかを痛感した。国後島では、日本のように整備されているとは決して言えない生活環境の中で、それぞれの幸せを守りながら暮らす人がいる。その人達の姿を見て、日本の騒ぎはつくづく表面的だったのだな、と少し悲しくなった。

朝が来れば水平線から朝日がのぼり、海は輝く。夜になれば日は沈んでいき、海は底知れぬ闇に覆われる。そんな海を見つめていて



しみじみと感じたのは、私達は生かされているんだなあと言うことだ。しかし、同時に私達は生きている。だからこそ、そこに意志が生まれ、その衝突が喜びを生まし時に悲しみをも生む。同じ時に、同じ大地に生を受けた全ての命達。その奇跡に感謝し、悲しみがあるうとも、必ずその先の喜びを信じることのできる世界の存在を強く望んだ2週間だった。そして、私達が生き、生かされているのが、地球というたった一つの星である以上、その世界の存在はここにしかない、改めて認識した2週間だった。

(きたがわ あつこ)
社会学科 第4学年

されど夏休み

夏休みの宿題ねえ。課す側としては、日頃講義のある期間にできないことを勧めるべきなんだろうけど・・・。かくいう自分が学生の頃、何をしていたかという、殆どいつも通りに大学に来て、研究

室か図書館で涼んでいたのだから、説得力のないことおぼた夥しい。

ここで少し説明を加えておこう。谷大は、20世紀もあと10年ちょっとで終わるといふ御時世にあつて、教室に冷房の効くエアコン

とかいふやうな文明の利器を未だ持たなかつたのである(暖房機はあり、冬場は大活躍だったが、5限目が終了する10分前に音もなく切れるという優れものであった)。教員も学生も7月の第1週をうだ



自画像

中 嶌 容 子

ような教室で耐え忍んだら、前期試験もせずに夏休みに突入していた。

そのツケは9月の第2週に回って来る。1週間だけ授業があり、徐ろに前期試験が始まる。だから、フツーに分別のある学生は、課題の出されているレポートに夏休み中から取り掛かる。普段より人が少なく静かな研究室や図書館(と^{おもむ}いうことは、分別ある学生が多くなかったことを意味する)で、ちんたらちんたら原稿用紙のマス目を埋め、本・新聞・雑誌を読みつつ、のんびりのんびり過ごす。ただ開室・開館時間が短縮されていて、まだまだ暑い午後5時前には放り出されるので、やはりエアコンのない下宿(こちらは冷暖房問わず)に住む我々のようなあわれな下宿生達は、部屋に帰りたくないと言わたりながら、近くの本屋かファースト・フードのお店で、日が暮れ夕風が吹き始めるのを待つのである。1人でも暑くて部屋にいられないのだから、他人の下宿を訪ねて時間を潰すというのがどんな暴挙であるかを同胞たちは

知っていた。

さて、ここに1人の剛者、我が友人W嬢がいる。当時、京都市営地下鉄は京都 - 北大路で運行しており、W嬢の下宿は鞍馬口にあった。夏休み中の日曜の昼前に、彼女は鞍馬口駅で1区間分の切符を購入して地下鉄に乗り、そのまま京都 - 北大路、片道約15分をひたすら往復し続け、夕刻北大路駅で降りるのであった。我が友人は涼しい処で読書がしたかったのである。取り立てて用事のない日曜には、この趣味(修行?)を繰り返した。

お盆の入構禁止の時期(谷大にいとこれが当然であるかに思われるが、正月休みはあっても盆休みのない大学は日本中にいくらかある。もちろん、そうした大学ではお盆でも図書館や研究室が開いている)は、さすがに^{さまよ}彷徨える下宿生も致し方ないので、実家に帰って英気を養い、大学に入れるようになる^まとすぐ京都に戻って来ていた。大学が好きなようにも見え^るが、単に暇なだけだったような気もする。外見は同じであるが、

内実はまったく違う。

結局、思い出話に終始して宿題の話に及んでいないかに思われるかも知れないが、決してそうではない。うだうだと文字数を稼ぎながらも、どう切り出そうかと考えているのである。夏休みには講義のある時にできないことをする。そう、1日中地下鉄に乗ったり、研究室や図書館で涼んだりしながら本を読むことも夏休みでなければできない。「本を読め」って? いやいや、甘い。「夏休みこそ勉強しなさい、普段してないんだから」と思わずキーボードを叩く指が滑ってもいい所だが、幸いそこまで性格は歪んでいない。第1学年の皆さんへの課題は、もう少し具体的かつ合理的かつ目的的かつ建設的かつ将来的かつ発展的である。すなわち、「卒研・卒論のテーマを考え、資料の収集を開始せよ」。これは今年だけでなく、来年度以降も有効である。

(なかしま ようこ
助手 国語学・国文学)

私の夏休みの過ごし方 - 現代社会にも心を開いて -



森 真理子

私達学生は、日頃自分の研究テーマに沿った勉学で毎日が費やされている。この事は当然であるが、この夏休みは他にも何かテーマを決めて取り組んでみてはどうだろうか。

「なーんだ、めんどうだ。」と思うだろう。しかしこのことが元気の素になり、文学での発想も新しい息吹が湧いてくるのである。

私の今年の夏休みは少し視点を変えて、家庭でできる環境対策に

取り組もうと考えている。

現在の私達の周りには環境汚染が迫っている。ダイオキシン、酸性雨、河川の富栄養化また食品には多種の身体に悪影響を及ぼす添加物の数々、これらを考えると人

類の滅亡が身近に迫っている感がある。私はこれらの環境問題の内、家庭から出る生ゴミを土壌に還元する可能性について、取り組んでみたいと思っている。

家庭では毎日生ゴミが発生するが、これら生ゴミは所定の集積場へ出し、市の回収車によって焼却場へ運ばれ高温燃焼される。だが完全にダイオキシンは消滅せず消却灰の中に残留する。そして残留した消却灰は埋立て処分場へ運ばれ埋設される。よって極力ゴミを少なく押さえる事が重要である。そこで私は家庭から発生する生ゴミを家庭で処分することに、取り組んでみるつもりである。下宿の人でも小さなプランターがあればできる。私の家の庭にも木々が植栽されているので、肥料にもなると思い、生ゴミを土中に埋設し、どれだけの日数で消滅するかを実験したいのである。

私達の周りの一般土壌でも、微生物は土壌1グラム当り数で数億、種類で数千生棲していると言われている。これらの微生物にと

って生ゴミ等の有機物は分解され餌となり、肥沃な土壌となって、木々にとって有益な肥料になる。これは一種の食物連鎖で、土からの恵によって得た作物の一部を土に返す。これは誠に理に叶った自然の摂理ではないだろうか。「何もこんな面倒なことをしなくても生ゴミ処理機があるのに」と思うだろう。生ゴミ処理機は電気を必要とする。電気を使えば発電の過程で大気を汚すのである。

わずかでも庭又はプランターに土壌があれば生ゴミの処分は可能である。「生ゴミの処理を一軒や二軒した所で何の役に立つのか」と思うだろう。しかし市単位、県単位ですれば大幅なゴミの減量化になる。

この他にも日常でも取り組める問題として、食品に関することがある。私達が毎日摂取する食品には多種の身体に悪影響を及ぼす添加物の数々が入っている。「そんな事を考えていては何も食べられない」と思うだろう。だが10年・・・20年、貴方が中年になって

ようやく人生の花が咲き始めた頃、病気がおこってくるのである。若い頃から食品を買うときには、できるだけ添加物の少ない物を購入することを、夏休みの宿題として始めてみてはどうだろう。

今の世の中は余りにも物質文明に頼り過ぎ、自然の摂理に背いた生活をしたことの代償が今日の環境汚染に繋がったのである。

長いようで短い夏休み、何か目標を決めて取り組まないと、成果の上まらない夏休みになりそうなので、通常のテーマと併せて環境問題を取り上げたのである。

貴重な夏休みを大切に送りたいと思うこの頃である。

人生の真只中にいる貴方。現代社会は、私達が感じている以上にめまぐるしく早く動いている。この動きの流れを体で感じ、受けとめ、解放感のある自由に満ちた「夏休み」を、伸び伸びと有意義に送っていただきたいと思う。

もり まりこ
（ 修士課程 仏教文化専攻 ）
第1学年



本学卒業生、第19回太宰治賞受賞！

本学文学部哲学科卒業生の小林ゆりさんが、「第19回太宰治賞」（筑摩書房・三鷹市共催）を受賞しました。受賞作品「たゆたふ蠟燭」は、863篇もの応募作品の中から選ばれました。

太宰治賞は1964年に筑摩書房が創設した小説の新人賞で、この賞から吉村昭、加賀乙彦、宮尾登美子、宮本輝など多くの作家が生まれています。1978年の第14回を最後に中断されていましたが、1998年、太宰治没後50年を機に、筑摩書房と三鷹市の共同主催の形で復

活したものです。

小林さんは埼玉県出身で、高校時代は人生の不条理に悩み、人生の答えをみつけるべく、本学哲学科へ進学しました。卒業後、作家を目指し、大阪文学学校で小説を書き始め、応募2作目の「たゆたふ蠟燭」で今回の受賞となりました。

受賞作は、スタイルも悪く美人でもないOLサクラを主人公とする作品で、ふとしたきっかけで見たクラブでのゲイのドラッグクィーンの舞台の魅力にとりつかれ

たところから展開する、一風変わった味わいの恋と旅立ちの物語です。最終選考に残った3編の中から、作品の持つ勢いが「爽快」とも評価され受賞となったものです。

～小林ゆりさんからひとこと～
「みなさま、はじめまして。社会人になってからも、日常に潜む不条理に悩まされている小林ゆりです。悩んだその日の明け方には、必ず悪夢をみます。同じような経験をしている方に読んでいただきたいです。」（企画室）

本学卒業生、第15回浜屋・よみうり仏教童話大賞金賞受賞！

本学短期大学部国文科卒業生の幸田裕子（旧姓：徳丸裕子）さんが、「第15回浜屋・よみうり仏教童話大賞」（浜屋株式会社主催）の金賞を受賞されました。

浜屋・よみうり仏教童話大賞は、1989年に仏壇専門店の浜屋が創立した、「仏教の心」を伝える創作童話のコンクールです。審査員には、大阪児童文学館の中川正文館長、元大谷大学教授西田良子氏、絵本作家永田萌さん等が加わっています。

今回の受賞作品「しっぽに気をおつけ」は890篇もの応募作品の中から、選ばれました。慈悲深いのかき和尚と恩返し狐の物語で、起伏のあるストーリーと物語のおもしろさに、ホロリとした結末が素晴らしいと金賞に選ばれたものです。

幸田さんは大阪府出身で、童話の創作活動は今年で6年目に入り、今回の受賞となりました。

～幸田裕子さんからひとこと～
「受賞は、うれしかったの一言

につきます。童話を書き続けていく、大きな励みになります。主婦ですので、表彰状を台所にはって、毎日料理をしながら、にんまりと眺めています。」（企画室）



幸田裕子さん

本学卒業生が詩集を出版

本学文学部哲学科卒業生の森西拓也さんが、詩集『コイハウタガウコト アイハシンジルコト』を2003年4月15日に株式会社文芸社



から共同出版されました。

森西さんは本学第3学年のとき、起業経験、就職活動など様々な問題にぶつかり、精神的な疲労とストレスを感じていました。そんな時、詩を綴ることと出会い、出版するきっかけとなりました。

この詩集には「悩みを抱えている人に読んでもらい、少しでも元気になってもらえれば・・・。」という森西さんの願いが込められています。

森西さんより図書館にも詩集を

寄贈いただいています。

～森西拓也さんからひとこと～
「大谷大学は心地の良い大学だと思います。勉強以外でも学ぶことが多いのでみなさんもアンテナを常に張って、大学生活を楽しんでください。」

株式会社文芸社のホームページ

<http://www.bungeisha.co.jp>

（企画室）

本学卒業生、第22回全日本テコンドー選手権大会にて優勝！

本学文学部仏教学科卒業生の福井匡さんが、2002年11月に開催された「第22回全日本テコンドー選手権大会」にて優勝されました。この大会には、日本全国から予選を勝ち抜いた選手たちが参加しました。

福井さんは本学在学中、テコンドー部に所属していました。大学入学後、軽い気持ちでテコンドー部の練習を見学に行ったことが、テコンドーを始めるきっかけとなりました。小さいころから、身体を動かすことが好きだったこともあり、練習を重ねるごとにテコンドーの世界に熱中し、大会にも意欲的に参加していました。卒業後も、2001年に韓国で開催された世界選手権大会をはじめ、2002年に日本で初めて行われた国際大会に

も、日本代表として出場されました。

福井さんは、テコンドーの魅力を「空手に似ているがスポーツ感が濃く、スピーディーな動きとかけひきが必要で、力だけでは勝つことができないところにあります。」と語ってくれました。福井さんは「オリンピック出場」を目標に、日々トレーニングに励んでおられます。

～福井匡さんからひとこと～



試合の様子

「人には得意なこと、不得意なことがあります。机の上以外でも、学ぶことは多いはず。大学でテコンドーに出会ったことは、僕にとってターニングポイントだったと言えます。みなさんも、自分が熱中して打ち込めることを何かひとつでも見つけて、悔いの無い学生生活を送ってください。勉強も大切ですけどね！ハハハ・・・。」

(企画室)



福井 匡さん (左から2人目)

大桑斉先生に名誉教授の称号おられる

大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上また学術上、特に功績のあった先生におくられる名誉教授の称号が、大桑斉

(国史学)先生におくられました。授与式は3月31日に学長室において行われました。(総務課)



授与式の様子

若葉祭開催

4月8日(火)、新入生歓迎祭典、「若葉祭」が開催されました。当日はあいにくの雨天でしたが、た



若葉祭の様子

くさんの新入生が参加し、校内では歩くと傘がぶつかるほどのにぎわいを見せました。

各クラブ・サークルの勧誘テント内では、多くの学生たちが集まり、新入生に活動内容やイベント紹介をし、新入生もそれらを真剣な眼差しで聞き入っていました。

また屋外ステージで予定されていた音楽系サークルのライブなどは講堂で行われ、ステージまで手の届きそうな雰囲気の中、大いに

盛り上がりました。

1号館の展示教室では新入生に大学のことを知ってもらい、先輩たちと一緒に楽しめるような企画も行われました。

「この若葉祭を通して大谷大学の雰囲気を理解してくれたと思うので、これをきっかけに楽しく、充実した学生生活を送ってほしいと願っています。」と実行委員は熱心に語ってくれました。

(企画室)

首都師範大学が小川学長を表敬訪問

4月28日(月)、本学学術交流協定校のひとつである中国北京の首都師範大学から3名の先生方が小川学長を表敬訪問されました。

来訪されたのは張雪副学長、劉曉天国際文化学院常務副院長、李丹明外国語学院教務事務室主任で(「学院」は日本では「学部」に相当します。)張副学長と劉副院長は今回が初めての本学訪問でした。

本学と首都師範大学は1997年に学術交流協定を結んで以来、研究者や学生の交流を重ね、2001年10

月の本学100周年記念式典に楊学礼(前)学長が出席されたことは記憶に新しいところです。また、昨年は、首都師範大学において小川学長が外国語学院日本語科の学生対象に「仏教の基本思想」と題する講演をされました。

訪問当日は、本学響流館の図書館や総合研究室等、とりわけ図書検索システムや図書自動貸し出しシステム、コンピューターの自由使用を熱心に見学され、本学の学生に対する教育姿勢に深く感動されました。

見学後の学長との懇談は、首都師範大学の卒業生である李青助教授も交え、これまでの両校の交流が話題にのぼり、今後もますます友好を深め交流を推進していくことを確認してなごやかなうちに終了しました。(教育研究支援課)



第3回 大谷大学・マールブルク大学学術交流シンポジウム開催

4月29日(火)から5月4日(日)にかけて、ドイツのマールブルク大学において、1999年度、2000年度に続く大谷大学真宗総合研究所国際仏教研究班とマールブルク大学神学部との国際専門会議、第3回 大谷大学・マールブルク大学学術交流シンポジウム「世俗



シンポジウムの様子

化の挑戦に直面する仏教とキリスト教」が開催されました。

大会は、29日、マールブルク大学神学部長ディートリヒ・コルシユ教授と、本学文学部長の延塚知道教授の挨拶をもって開会し、二日目以降、それぞれの小テーマのもとに仏教とキリスト教が直面し



新聞：左「マールブルガー・ノイエ・ツァイトゥング」
右「オーバーヘシッシェ・プレッセ」

ている世俗化の問題があらゆる角度から検討されました。2日目以降のテーマは以下の通りです。2日目「東洋と西洋における『世俗化』概念の問題性」、3日目「東洋と西洋における世俗化の様相」、4日目「さまざまな解釈の試み」、5日目「〔世俗化に対する〕仏教側とキリスト教側の反応」、6日目、ルターゆかりの地への研修旅行(アイゼナハ～ヴァルトブルク)。なお、シンポジウムは現地でも大きな関心をもって受け入れられ、その模様は各新聞紙上で報告されました。(村山保史)



文化学科主催・国際文化学科共催 新入生歓迎 能楽囃子コンサート開催

去る5月14日(水)午後4時より響流館メディアホールにて新入生歓迎会を催しました。本公演会には、文化を学ぶには実物を見たり聴いたりする体験の理解が重要な意味



実演体験の風景

をもつことを新入生諸君に知って貰いたいという狙いが込められています。

本年度は日本の伝統文化を代表する一つである「能楽囃子」を、学生諸君にも興味をもてるように、コンサート形式で行うことにしました。演奏の合間には、観世流・シテ方森壽子氏の能舞、大倉流・小鼓方上田敦史氏の楽器についての解説、本学M.ベテ教授の能楽ミニ講義などを混ぜてコンサートが進められ、最後に、聴

衆を対象とした小鼓・大鼓・太鼓・笛などの実演体験コーナーが設けられ、午後6時頃終了しました。恐らく、ほとんどの学生諸君にとってこれほど身近に能楽演奏を聴き、しかも楽器の実演体験をすることなどは初めての経験であったと思われます。こうした貴重な体験は今後能楽を鑑賞し理解する上で何か新しい見方を与えてくれるものと期待しています。

(築山 修道)

大谷学会春季公開講演会開催

5月27日(火)午後1時より、講堂において、大谷学会春季公開講演会が開催されました。毎年、学内と学外それぞれ1名の先生に講演をしていただいています。今年の講師・講題は次の通りでした。

大谷大学教授 河内昭圓氏「偽選の背景」

明治大学商学部教授 越智道雄氏「21世紀のアメリカ文明 - 文化戦争と高度管理社会 - 」

唐代中期の文学を研究されている河内氏は、以前から弘法大師空海の作とされている『三教指帰』は偽選であるという説を唱え、大

きな反響を得ていますが、この講演では『三教指帰』偽選説や、その説に関する学会の見解などを中心に、詳しくお話しいただきました。

引き続き、主に米豪の比較文化を軸に、英語圏新世界諸国の文化多元主義の研究に従事している



河内昭圓教授

越智氏は、グローバル化が進む世界におけるアメリカの対応などについて、具体的な例を挙げながら説明していただきました。

講演会後には、活発な質問と丁寧な応答がありました。

(大谷学会)



越智道雄教授

宗祖誕生会

5月30日(金)午前10時から、講堂において、宗祖親鸞聖人御誕生会が厳修されました。真宗大谷派では、4月1日に行われていますが、大学では春休み中を避け、毎年6



竹村牧男教授

月1日に行っています。今年は休日の関係で日程を繰り上げて執り行ったものです。

今年度は、勤行に引き続き、東洋大学教授 竹村牧男氏より「大拙と西田 - 真宗をめぐる - 」と題して記念講演をいただきました。鈴木大拙と西田幾多郎といえ、日本の思想界・哲学界に多大な影響を与えた碩学ですが、この無二の親友であったお2人の思想に通底しているものが真宗である

ということをお話くださいました。西田は1911年に非常勤講師として本学にて教鞭をとり、また大拙は1921年に大谷大学教授に就任しているように、大谷大学と深く縁を結んでいたお2人です。講演では、西田哲学の構築に真宗が大きく関わっていたこと、そして西田の真宗に対する関心が、大拙との交流から築かれたものであることを明らかにしてくださいました。

(総務課)

真宗連合学会第50回大会開催

真宗連合学会第50回大会が、大谷大学を会場として、6月6日(金)・7日(土)の2日間にわたって開催されました。

真宗連合学会は、親鸞を宗祖と仰ぐ真宗10派によって1954(昭和29)年11月に結成された学会です。三重県真宗高田派専修寺で第1回大会が開催されて以来、今大会は50回の節目にあたる大会となり、170名を越える多くの参加者で盛会となりました。

6日午前は、「真宗と近代」をテーマとする特別部会を含む3つ

の会場で21名の研究者による研究発表が行われ、活発な質疑応答が行われました。午後は、「真宗連合学会の願いと歩み」というテーマでシンポジウムが開催されました。パネリストには、大谷大学名誉教授名畑崇氏、龍谷大学名誉教授千葉乗隆氏、専修寺宝物館主幹平松令三氏をお招きし、草野顕之大谷大学教授の司会のもと、真宗研究の今後の展望について意義深いお話をお聞きすることができました。

また、大谷大学図書館の協力を

より、響流館において、真宗連合学会に関わる出版物を中心とする特別展覧会が開催されました。

なお、研究発表やシンポジウムの内容については、来年1月発刊予定の『真宗研究』第48輯に掲載されます。(三木 彰円)



会場風景

オープンキャンパス開催される

オープンキャンパスを去る6月22日(日)に行い、北は福島県、南は長崎県から、計269名の参加者を迎えました。

このオープンキャンパスは、高校生やその父母の方々に実際の大谷大学に触れて、本学への理解をより一層深めてほしい、という趣旨で実施しています。

今回からの新しい試みとして、正門に加えて北門を開けて受付をしました。参加者には、とても便利な場所にあることを実感しても



オープンキャンパスの様子

らうことができたようです。

開催の運営にあたっては、前年度に引き続き、40名の在学生ボランティアスタッフの協力を得ました。受付・フリートークコーナー・学内案内などにおいて、このスタッフ達が、受験生からのさまざまな質問に答えたり、学生生活について話しをしたりするなど、本学の雰囲気を伝えました。

さらに1号館教室では文学部8学科・短期大学部3学科の教員による学科相談コーナーや、入試・奨学金・下宿・クラブ・就職・海外留学などの相談コーナーを設置したほか、ミニ講義が開講されました。

講堂で行われた大学説明会では、大学の概要や公募制推薦入試のポイント、その他入試に関する

留意点などの説明がなされ、そのほかキャンパス見学ツアー・大学紹介ビデオの上映・図書館での特別展覧会なども行われました。

参加者から回収されたアンケートでは、「学生の方が親切にしてくれてうれしかったです。」「新しい設備もあれば古い建物もあって、良い環境だと思いました。」「実際に大谷大学に来てみて、とてもいいところだと思いました。」「自分のやりたい学科でどのような勉強をするのか、知ることができて良かったです。」など、オープンキャンパスに参加して満足したという声が多く寄せられました。

今年度は、8/1(金)・8/2(土)・9/20(土)・11/16(日)にもオープンキャンパスの開催を予定しています。

(入学センター)

“人権問題を共に考えよう”全学学習会開催

“人権問題を共に考えよう”全学学習会（今年度第1回目）が、去る6月19日午後4時30分から講堂で開催されました。

いわゆる同時多発テロからアフガン戦争、さらにイラク戦争や北朝鮮の問題等の世界の状況と、有事立法制定など一連の日本の現状を踏まえて、昨年度第2回に引き続き同じ「戦争と人権」というテーマでの学習会となりました。講師に辛 淑玉（しん すご）さんをお迎えし、「イラク・北朝鮮・日本 - この国に生きる在日とし

て」という講題でご講演をいただきました。辛さんは在日三世として差別の中を生き抜いてこられました。そこで培われた鋭い感性で状況を捉える中から、私たちに多くの示唆に富むお話をいただきました。

参加者は、数名の学外参加者を含めて約160人。「全学学習会」にはいささか寂しい数字ではありましたが、多くの方が共感をもって熱心に聴講いただいた様子が参加者アンケートにも示されていました。なお、今回の講演は、今

まで開催された講演とともに、今年度末に冊子として刊行する予定をしています。（人権センター）



辛 淑玉さん

大谷大学博物館いよいよ開館

大谷大学では、待望の博物館をこの秋から響流館の1階に開館します。

2001年10月に、真宗総合学術センター響流館が完成した後も、展示室・収蔵庫など施設の乾燥をま



展示室

っていました。本年夏には図書館から移管する収蔵品の受け入れを開始し、開学記念日に合わせて開館し、10月14日(火)より一般公開を開始します。

開館記念特別展は、「古典籍の魅力 - 大谷大学の名品 - 」をテーマとし、中国唐代、日本の奈良、平安、鎌倉を中心として4部に構成され、重要文化財7点を始めとする大学所蔵の名品40点余を展示します。

碑文の拓本と書物の写本や版本を中心に、仏典貴族の日記・古文

書をはじめ、親鸞・蓮如の真筆など、バラエティに富む展示品は、そこに込められた仏教への熱い思いとともに見る者を魅了するはず

です。

特別展は11月30日(日)まで。

本学の博物館は、特に仏教・真宗に関わる文化財を主要なテーマとして活動を進める方針であり、また広く一般公開を予定しているところから、大学の特色を発揮し、社会に貢献する活動の重要な一翼を担うものと期待されます。

（企画室）

図書館利用者が増加しています！

新図書館2年目がスタートして早くも3ヶ月が経ちました。昨年度の利用状況がまとまりましたのでお知らせします。

昨年度の開館日数は243日、入館者は約17万5千人でした。1日平均入館者は720人余り、土曜日を除くと1日1,000人以上の利用者が入館したことになります。試験期には特に利用者が多く、1月

には1日最高で3,032人の入館利用がありました。

図書館と総合研究室が階段などで自由に行き来できるため、図書利用者も格段に増加しています。昨年6月に開始した地下開架書庫の入庫利用者は月平均約450人、図書の館外貸出冊数も前年度に比べて1.5倍となりました。

今年も前期定期試験が近づいて

いますが、図書館利用について不明なことがありましたらカウンターでお尋ねください。

なお、昨年の図書館移転の様子は図書館報「書香」第20号に新図書館開館の軌跡として掲載しています。併せてご覧ください。「書香」は図書館各カウンターに置いています。

（図書・博物館課）

中学生の「生き方探求・チャレンジ体験」受け入れ

本年も、10月末に京都市教育委員会が体験学習の一環として実施する「生き方探求・チャレンジ体験」の中学生2名を受け入れる予定です。

昨年も、10月29日から31日までの3日間、京都市立加茂川中学校2年生の藤井絵美さんと藤井舞さんが、本学の事務を体験しました。図書館業務、授業資料の作成、施設・備品の点検、ノートテイクなど、幅広く大学の業務を体験しています。

藤井絵美さんは「大学は暗いイメージがあったけれど、とてもきれいで明るい感じでした。事務の

みなさん、先生方全員が大学生一人ひとりのことを考え、よりよい大学にしていこうとがんばっておられるなあと思いました。」とのことでした。また、藤井舞さんは「一番印象に残ったのは教材準備室です。バイトの人達と一緒に資

料をコピーしました。ノートテイクを体験し、はじめは、こんなに簡単や！と思っていたけれど、いざやってみるとむずかしいなあと思いました。」と感想を述べていました。(企画室)



体験学習の様子



藤井絵美さん

藤井舞さん

清沢満之100回忌記念シンポジウム記録刊行

本学の初代学長であった清沢満之が没して、昨年は100回忌にあたり、本学では記念法要とシンポジウムが開催されました。このほど『清沢満之における哲学と宗教』と題されたシンポジウムのテーマをそのまま書名として、記録をまとめ刊行しました。

当日のパネリスト3氏が、宗教学・社会思想史・真宗学の立場から、清沢満之の思想の特色と、現在の意義を語った分かりやすい内容となっています。

学内書店にて1冊500円で販売しています。(企画室)



大谷大学オリジナルカード販売のお知らせ

大谷大学のオリジナル製作「オレンジカード」「スルッとKANSAI」「図書カード」「テレホンカード」の販売を、企画室にて行っています。購入ご希望の方は、企画室(博綜館3F TEL:075-411-8115)までお問い合わせください。(企画室)

オレンジカード	1枚	1,000円
スルッとKANSAI	1枚	1,000円
図書カード	1枚	500円
テレホンカード	1枚	500円



オレンジカード



スルッとKANSAI



図書カード

企画室移転のお知らせ

企画室は、これまで博綜館2階にありましたが、このたび同3階北東側、旧入学センター跡に移転しました。新たに企画室分室を設け、学内行事や出版物等、各種の問い合わせに迅速に対応できるよう資料を揃えています。

事務窓口ホームページ化への取り組み ～「学生向け情報提供システム」を利用しよう！～

携帯電話版「学生向け情報提供システム」が稼動しました

サービス内容

- 休講情報
- 個人別時間割（休講表示有り）
- 個人掲示板

利用方法

大谷大学・大谷大学短期大学部ホームページ（<http://www.otani.ac.jp/>）から「学生向け情報提供システム」にログインをして、【一般掲示板】>>カテゴリ[当システムについて]>>サブカテゴリ[携帯電話対応について]を参照してください。

留意事項

携帯電話版は、パソコン版の情報の一部表示するものです。掲載内容については、必ずパソコン版で確認をしてください。
携帯電話版を利用するためには、携帯電話が「SSL対応機種」である必要があります。
通送料については、個人負担となります。



携帯電話版「学生向け情報提供システム」のTOPページ

「学生向け情報提供システム」利用者について

やのあつこ

箭野貴子さん（文学科・第1学年）

Q：「学生向け情報提供システム」が今年の4月から稼動しています。実際に使ってみてどうですか？

箭野：入学式でもらったチラシを見た時から興味をもっていました。頻繁に使い始めたのは5月以降なのですが、インターネットを利用して大学からの情報を受け取ることができるので、すごく便利なシステムだと思います。

Q：主にどんな情報を見る人が多いですか？

箭野：1番よく見るのは【週間授業情報】です。自分の履修している授業が確認できますし、休講・補講・教室変更が色分けされているので、とても見やすいですね。その他にも【一般掲示板】の出版物情報などもよく見えています。私は大阪から2時間かけて大学に通っているのですが、大学に行く前に自宅のパソコンで休講情報をしらべることができるので、とてもうれしいです！

Q：「学生向け情報提供システム」をどのくらいの頻度で利用していますか？

箭野：休みの日には、自宅から必ずアクセスして見えています。7月10日頃から、試験情報なども掲載されるということなので、見る機会は今よりも増えていくと思います。



いつみょうた

逸身良太さん(文化学科・第2学年)

Q：携帯電話版「学生向け情報提供システム」を使ったことがありますか？

逸身：あります。今までは、パソコンで利用していたのですが、携帯電話への対応が始まったおかげで、携帯電話からも休講情報が確認できるようになりました。パソコンが使えない通学途中などでも気軽にアクセスして、休講情報を確認できるのがいいですね。

Q：使いやすさはどうですか？

逸身：画面の作りがシンプルなので、情報が探しやすいです。今後は、パソコンと携帯電話をあわせて利用していきたいと思っています。



おみかな

岡見可菜さん(社会学科・第3学年)

私は主に総合研究室のパソコンで「学生向け情報提供システム」を利用しています。まず、最新情報をチェックしてから、【休講一覧】【教室変更一覧】などを順番に見ていきます。トップ画面が見やすくまとめられていますので、パソコンがちょっと苦手な私でも、とても使いやすいですね。学内の掲示板を見て、携帯電話でも利用できることを知りました。今後は、携帯電話版も利用していきたいと思っています。



トピックス

*【時間別教室状況】で、授業以外の教室使用状況（クラブ・講習会など）を確認できるようになりました。

*「パソコンに関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートをもとに、今後のサービス内容を検討していきます。アンケートの集計結果については、広報秋号に掲載する予定です。



【時間別教室状況】のページ

学問のしおり

昨年、「戦国期本願寺教団史の研究」と題する学位請求論文を提出した。内容を大きく3部に分け、第一部は「蓮如教団形成の諸問題」、第二部は「戦国期本願寺教団の形成と展開」、第三部は「戦国期本願寺儀式の形成と展開」という編成で、合わせて18章と付論1編とで構成した。各章や付論の多くは、過去約20年間に発表してきた戦国期本願寺教団に関する論考を、一つの論文としての一貫性をとるために内容を大幅に改訂し、また表現を統一するなどの作業を経て収録したものである。加えて、内容的に不備な部分については、新稿を書き下ろして付け加えた。

3部の構成は、第一部において戦国時代の15世紀後半に本願寺教団を爆発的に拡大させた第8代蓮如の教団形成に関する諸問題を論じ、第二部で蓮如没後16世紀前半における教団の組織化と制度化とを明らかにし、その組織化・制度化の原理としてあった儀式の形成と展開を第三部で検討するという形をとっている。

こうした論文の構成から、読者は私の

研究が、蓮如による教団拡大 拡大した教団の編成 教団編成の原理、という章の流れにそった順序で進められたのではないかと思われるかも知れないが、それは全く違う。私の研究の出発は、主として第二部に収められた戦国期本願寺教団の組織化・制度化の実態を明らかにするところから始まっている。

20年前のこの分野における課題は、戦国期真宗史の大きな問題である一向一揆と、本願寺教団との関係は如何なるものであるのか、という点にあった。従来の研究は、一向一揆は一向一揆研究として、本願寺は本願寺史研究として、別個に行われていたのである。そうした研究の不合理を解消し、両者を統一的に検討する必要性が叫ばれ、幾つかの萌芽的研究が発表され始めていた時期であった。

一向一揆を形成している加賀の人々が、「卅日番衆役」という御堂警護の宗教役を負担するために、定期的に本願寺に上ってきていた事実を発見したのは金龍静という研究者であった。また、本願寺歴代の祥月



戦国期本願寺教団史研究をふりかえって

草野 顕之

や命日に本願寺で催される法会を、全国の門徒が交代で担当し、手弁当で上山したうえに法会にかかる全ての費用を負担するという「頭役」の存在を明らかにしたのは早島有毅氏であった。

こうした研究に私は強い刺激を受け、戦国期本願寺教団の組織化・制度化の全体像を明らかにすることが、緊急かつ重要な仕事ではないかと考えたのであった。当該期の基本史料というべき『天文日記』の精読に多くの時間を費やした。その中で、「卅日番衆役」や「頭役」を勤める人々は、本願寺の儀式の席で宗主との対面を果たすことを通して、教団構成員であることを自己確認すると同時に、そこでの座次（着座順）が教団内身分を決定していたであろうことを確信した。そこで、本願寺での儀式に深く関与していた「一家衆」や「常住衆」と呼ばれる人々の実態を検証し、同時に、教団編成の基本原理が儀式にあるとみて、儀式の形成と展開とを跡づけていったのである。結果、一番最後に行った作業が第三部で論じた教団拡大の諸問題というこ

とになった。

こうまとめてみると、順序こそ違え極めて計画的に研究が進められたようだが、決してそんなことはない。例えば、第二部に収録した『永正十七年元旦ヨリ儀式』という本願寺最古の年中行事記を紹介した1章は、大学で行われた展覧のための調査を基に活字化したものであるし、第三部の山科本願寺に関する2つの章は、山科本願寺遺跡の保存運動の中で講演した内容を論文化したものである。

こうして、偶さかに出会った課題をも含めて一つの論文としてまとめることができたのは、おそらく長い間かたくなに、一貫した問題意識を持ち続けていたからには相違ない。しかし、そのことが逆に論文を狭小でひとりよがりな内容にしてしまったのではないかとおそれているのである。

(くさの けんし 教授 日本仏教史(中世)・真宗史)

総務課

暁天講座の開講

本年度の暁天講座を次の通り開講いたします。

- 7月23日(水) 池上 哲司 本学教授
「遠い記憶 過去はどこへいったのか」
- 7月24日(木) 安富 信哉 本学教授
「無諍の世界への祈り 法然上人に想う」
- 7月25日(金) 小川 一乗 本学学長
「光寿無量 さとりとすくい」

*いずれも講堂において、午前6時30分から開講します。

*終了後、学内食堂において、朝粥を用意しております。

安居の開講

真宗大谷派の今年度安居が、本学において次の通り開講されます。

期 間 7月16日(水)～30日(水)

場 所 大谷大学

なお、開講式(7月16日)と満講式(7月30日)は、真宗本願御影堂において行われます。

講本・講者

〔本講〕「顕浄土真仏土文類」

講師 小川 一乗

〔次講〕「選択本願念仏集」

嗣講 安富 信哉

*安居(あんご)とは、梵語(ぼんご) VarsaまたはVāsikaの訳語で「雨期」の意。古来インドでは、夏の雨期になると遊行(ゆぎょう)・僧が諸国をめぐる説法、教化することが難しく、また、草や虫を踏み殺してしまう恐れがあるところから、精舎と呼ばれる窟院に住して修行した故事による、と言われていました。僧侶がある期間外出しないで一定場所に居住し、学習することをいいます。

教務部

前期試験について

今年度の前期試験は、7月22日(火)より31日(木)までの期間に実施します。

試験方法・時間割等詳細は、7月10日(木)に掲示します。

前期追試験について

病気等の理由で前期試験を受けられなかった場合には、教務部へ出願して追試験を受けることができます。

(許可される理由等の詳細は『履修要項』『履修規程』で確認してください。)

出願期間

当該科目試験日から一週間以内。ただし、7月30日(水)・31日(木)の試験については8月5日(火)が出願締切りになります。

追試験日(予定)

8月25日(月)・26日(火)

真宗大谷派教師前期修練について

文学部第3学年主対象の前期修練は次のとおり行われます。受講予定者は掲示板で受講班を確認してください。

第1班 8月19日(火)～8月25日(月)

第2班 8月29日(金)～9月4日(木)

第3班 9月5日(金)～9月11日(木)

第4班 9月13日(土)～9月19日(金)

集中講義期間について

今年度の集中講義期間は次のとおりです。各科目の日程については時間割表・掲示物で確認の上、受講してください。

集中講義期間

9月8日(月)～9月19日(金)

期間外実施

8月1日(金)～8月8日(金)

なお、教室については7月下旬に掲示します。

後期の日程について

9月22日(月)より後期授業が始まります。

また、この日に前期成績の「履修単位通知書」を配付しますので、学生証持参の上、講堂棟1階ホワイエにて受領してください。

9月30日(火)～10月2日(木)は修正登録期間です。前期評価の結果、登録の修正が必要な場合はこの期間中に手続きをしてください。修正の可否、追加募集科目等の詳細は7月中旬に掲示にてお知らせします。

卒業研究の提出について

卒業研究提出・題目変更締切日について

明年3月、短期大学部卒業見込み学生は、右記の一覧表で卒業研究提出締切日等を確認の上、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務部窓口で受取り、指導教員の承認印を得た上で、右記の題目変更締切日までに教務部へ提出してください。

提出場所について

教務部窓口へ提出してください。

なお、締切最終日のみ右記の会場に提出してください。

提出締切日時について

種 別	題目変更締切日	卒業研究提出締切日時
卒業研究(仏教科・文化学科)	10月24日(金)	10月31日(金)午後4時
卒業研究(幼児教育科)	11月19日(水)	12月1日(月)午後4時

提出最終日の会場について

種 別	最 終 日	会 場
卒業研究(仏教科・文化学科)	10月31日(金)	講堂棟1階ホワイエ
卒業研究(幼児教育科)	12月1日(月)	至誠館2階会議室

(注意事項)

論文等の提出方法や様式については、『履修要項』・『卒業研究作成の手引』で確認してください。

ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、学科等により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合で、所定の書式以外で提出するときは、題目変更締切日までに「ワ

ープロ書式所定外作成届」を提出してください。

提出最終日の締切時間「午後4時」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。午後4時の段階で、この要件を満たしていない卒業研究は受領できませんので注意してください。

「緊急時における授業等の取扱い」の一部改正について

今年度より、気象台から出される注意報・警報が区域を細分化して発表されることになりました。これとともない、本学の「緊急時における授業等の取扱い内規」を改正し、以下のように取り扱うこととしましたので十分注意してください。改正箇所以外の「緊急時における授業等の取扱い」については『学生手帳』72ページを参照してください。

改正前		改正後	
(1) 暴風警報が、「 <u>京都府南部</u> 」に発令された場合の授業等の取扱い (大雨・大雪警報等は除く)		(1) 暴風警報が、「 <u>京都府南部</u> 」または <u>京都府南部における「京都・亀岡」のいずれかの区域に発令された場合の授業等の取扱い</u> (大雨・大雪警報等は除く)	
警報解除時刻	授業開始講時	警報解除時刻	授業開始講時
午前7時までに解除	1講時から実施	午前7時までに解除	1講時から実施
午前7時01分から午前10時30分までに解除	3講時から実施	午前7時01分から午前10時30分までに解除	3講時から実施
午前10時31分以降に解除	終日休講	午前10時31分以降に解除	終日休講

試験時の学生証の携帯について

7月22日(火)より7月31日(木)まで、前期定期試験が実施されます。事前に「定期試験(受験注意事項)」(学生手帳73頁)を熟読しておいてください。

なお、定期試験は学生証を携帯

していないと受験できません。

万一、学生証を忘れた場合は、試験開始前に、学生課で仮学生証(発行当日のみ有効)の発行手続きをしてください。発行に際しては、手数料500円が必要です。

定期試験不正行為は厳禁!!

定期試験において、不正行為が発見された場合は、その試験期間の受験資格を失い、単位は与えられないなどの処罰を受けることがあります。試験には厳正な態度で臨んでください。

休暇中のアルバイトについて

夏期休暇を利用してアルバイトをしようとする場合は、安全で確実なものを選ぶことが大切です。賃金の高さにつられて、危険なアルバイトに手を出さないように注意してください。

アルバイトには、業務上の事故や、労働条件をめぐるトラブル

が発生することがあります。信頼できる安全なアルバイトを選択するように心がけてください。

学生課では、安全なアルバイトの紹介を行うとともに、アルバイトについての様々な相談も行っています。困った事があった場合には学生課に相談してください。

なお、学外では内外学生センター学生相談所(京都075-771-4274、大阪06-6361-3791、神戸078-252-0998)でアルバイトの紹介を行っています。詳しくは学生手帳76頁を参照してください。

海外渡航についての注意

夏期休暇を控え、学生諸君の中には海外渡航の計画を進めておられる方も多いと思います。テロ発生以来、戦争や紛争、重症急性呼吸器症候群(SARS)等、海外で不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、慎重に計画を立ててください。利用する旅行会社・航空会社についても信頼できる会社であるか、また緊急連絡体制は万全か確認し、自分自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

渡航については「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の承認を得たうえで必ず学生課に提出してください。

なお、WHO(世界保健機関)による重症急性呼吸器症候群(SARS)の「最近の地域内伝播」が疑われる地域への渡航、およびこれらの地域を経由する航空機の利用については、当分の間、見合わせてください。発生状況は変化しますので、以下のホームページでこまめにチェックしてください。教育研究支援課(響流館1F総合事務室)前にも掲示しています。

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>

外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

国立感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

万一、これらの地域から日本へ帰国した場合は、日本到着後10日間は大学への入構、授業や課外活動への出席を禁止します。その間はできるだけ人との接触を避け自宅待機し、自己の健康に留意してください。発熱、咳などの症状がある場合は、すぐに最寄りの保健所に電話で相談して下さい。また、すみやかに大学へ電話により状況を知らせてください。

厚生労働省ホームページ(SARSに関する情報提供体制について)
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1a2.html>

本学連絡先

075-411-8120(保健室)

入学センター

オープンキャンパス ボランティア学生募集

オープンキャンパスとは、主に高校生を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部のことをよく知ってもらうために実施する大学見学会です。このオープンキャンパスでは例年在学生のボランティアの方に協力いただき、見学者に渡す資料の袋詰めや会場設置を含め、当日の案内誘導、高校生とのフリートークなどを実施しています。

そこで今年度も協力いただける在学生ボランティア（学生スタッフ）を募集いたします。詳細については入学センターまでお問い合わせください。1日のみの参加でも結構です。是非ご協力ください。

開催日 2003年8月1日(金)・8月2日(土)・9月20日(土)・11月16日(日)

問い合わせ先 入学センター
(博綜館1階)
TEL.075-411-8114

学生スタッフの声

第4学年 前田 智旭さん
「勉強をするだけでなく交友関係を広げるには、よい機会になりますね。スタッフとして参加することで、楽しく打ち解けあえる友人と知り合うことができました。支えあう友を見つけて信頼関係を築き、協調性や責任感を身につけるきっかけになるのではないのでしょうか。」

第4学年 下前 拓也さん
「きっかけは偶然に参加する事になったのですが、実際に高校生と接してみて、気づいたら谷

大の良いところばかりを話している自分に気づきました。入学して良かったということ、心のどこかで感じていたのだと、その時改めて思いました。」



昨年のオープンキャンパスの様子

進路就職センター

進路就職センターは、進学・就職全般についての相談窓口です。学年を問わず気軽にご相談ください。

進路ガイダンス実施 全員出席！

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

日時：2003年7月18日(金) 17:50～

場所：講堂

内容：自らの進路を考える上で、知っておくべきことや、考えなければならないポイントなどについてガイダンスします。また、進路就職登録カード(欠席事由証明書・推薦書発行に必要)なども配布しますので、就職・進学問わず、必ず全員出席してください。

第1回 就職ガイダンス

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

日時：2003年7月30日(水) 13:00～

場所：講堂

内容：企業への就職活動や、公務員・教員を目指す場合に知っておかなければならないこと(履歴書・エントリーシート・筆記試験・資料請求)などについてガイダンスします。

就職活動の中で最も重要なガイダンスです。就職希望者は必ず出席してください。

就職適性診断テスト・就職筆記試験模試・エントリーシート対策を実施！

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

日時：2003年7月31日(木)・8月1日(金) 時間未定(後日掲示にて確認のこと)

(いずれか1日を選択して受けること)

場所：後日掲示にて確認のこと

内容：適性診断テストとはどのような仕事自分が自分に適しているかを知るための試験です。また採用試験で直面する筆記試験・エントリーシート対策も同日に行いますので、就職を希望する学生は全員受験してください(無料・申込不要)。

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

秘書技能検定対応ビジネスマナー講習
 社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ。
 第71回秘書技能検定試験は11月上旬に実施予定です(要別途申込)

秘書技能検定対応ビジネスマナー講習(2級) 第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 26日・29日	17:50~20:00	45	3,000	学内書店にて購入	7月22日(火)~31日(休)
10月 1日・6日・8日・15日					
10月 17日・20日・22日 27日・29日					
11月 5日					

TOEICレベルアップ講習 第2回
 第2回は500点へのレベルアップを目指した対策講習を開講します。

TOEIC レベルアップ 第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 30日	18:00~20:00	20	15,000	学内書店にて購入	7月22日(火)~31日(休)
10月 2日・7日・9日・14日					
10月 16日・21日・23日 28日・30日					
11月 4日・11日・13日 18日・20日・25日					
12月 3日					

MOUS (Word・Excel)
対策講習 第2回・第3回・第4回
 仕事をする上でもっとも使用されているWord(ワープロソフト)・Excel(表計算ソフト)の使用方法をマスターする講習です。また別途申込にてMOUS検定試験も受験していただけます。

MOUS 対策講習
第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
8月 25日~29日	10:00~15:40	30	5,000	学内書店にて購入	7月22日(火)~31日(休)
9月 1日~4日					

第3回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 8日~12日 16日~19日	10:00~15:40	30	5,000	学内書店にて購入	7月22日(火)~31日(休)

第4回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
10月 7日・14日・21日 28日	16:10~19:20	30	5,000	学内書店にて購入	9月22日(月)~26日(金)
11月 4日・11日・18日 25日					
12月 2日・9日・16日					

～難関試験に早期から備えよう～

公務員受験特別講習 基礎講座
 公務員希望者を対象に、採用試験に対しての基礎的な受験対策講習を開講します。
 今回の講習は、国家種・地方初級レベルから中級レベルに向けての一般知識・一般知能分野(数的推理・判断推理・資料解釈)対策となります。受講は学年を問いません。

公務員受験特別講習 基礎講座

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
10月 15日・17日・22日 24日・29日・31日	17:50~19:20	50	4,000	2,600円 当日会場にて販売	9月22日(月)~26日(金)
11月 5日・12日・14日 19日・21日・26日					
12月 3日・5日・10日					

進路就職センターホームページ
 進路就職センターのホームページでは、ガイダンスや各種講習など進路就職センターで行うサービスを随時紹介しています。メールによる進路相談も随時受付中！
 ホームページアドレス <http://www.otani.ac.jp/gaiyo/ot109.html>
 メールアドレス sinro@sec.otani.ac.jp

夏期休暇中の図書の館外貸出について

通常の貸出手続きによって借り出している図書は、すべて返却した後、夏期休暇中館外貸出の手続きを取ってください。手続きには利用者カード（学生証・職員証および利用証）を必ず携帯してください。

貸出冊数(通常貸出冊数と同じ)

文学部・短期大学部学生	5冊
科目等履修生・聴講生	
大学院学生	10冊
非常勤講師	
教育職員・事務職員	20冊

手続期間

7月22日(火)～9月5日(金)

返却日

9月22日(月) 厳守

夏期休暇中の図書館開館日時について

夏期休暇中は次の通り開館します。

8月1日(金)～9月5日(金)
8月2日(土)、9月20日(土)
10:00～17:30
9月8日(月)～19日(金)
9:00～18:00

但し、土・日・祝日、大学事務休止日(8月9日～17日、9月1日)は休館します。

9月22日(月)から平常通り開館します。

詳細、変更は掲示・ホームページにてお知らせします。

図書館所蔵資料展覧のご案内

1階閲覧室に於いて図書館所蔵資料の展覧を次の通り開催致します。

夏安居・オープンキャンパス協賛展覧
「教行信証・選択集」

7月16日(水)～8月2日(土)

財務課

2003年度 後期学生納付金(学費)の納入について

納入期限は9月30日(火) 締切日 厳守 です。

後期学生納付金の納入期限は9月30日(火) <銀行受付日付有効・納入期日厳守>です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。

振込依頼書は、保証人宛に8月

30日に大学より一斉発送します。保証人住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が

困難と予測される場合には、必ず納入期限までに学生課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2003年度 後期学生納付金一覧

文学部

		授業料	施設費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1～3学年	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000			497,500
	人文情報学科	397,500	175,000			572,500
第4学年	本年度進級者	397,500	100,000	5,000	30,000	532,500
	” 人文情報学科	397,500	175,000	5,000	30,000	607,500
	(編入) 本学短大出身者	397,500	100,000			497,500
	” 人文情報学科	397,500	175,000			572,500
	(編入) 他大学出身者	397,500	100,000	5,000	30,000	532,500
	” 人文情報学科	397,500	175,000	5,000	30,000	607,500
	上記以外	397,500	100,000			497,500

短期大学部

		授業料	施設費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1学年	仏教、文化学科	397,500	100,000			497,500
	幼児教育科	397,500	110,000			507,500
第2学年	本年度進級者	397,500	100,000	5,000	30,000	532,500
	仏教、文化学科 上記以外	397,500	100,000			497,500
第2学年	本年度進級者	397,500	110,000	5,000	30,000	542,500
	幼児教育科 上記以外	397,500	110,000			507,500

大学院

		授業料	施設費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
修士 第1学年		240,000	60,000			300,000
博士 第1, 2学年		240,000	60,000			300,000
修士第2学年 および	本年度進級者					
	本学出身者	240,000	60,000			300,000
博士第3学年	本学出身者以外	240,000	60,000	5,000	30,000	335,000
	上記以外	240,000	60,000			300,000

同窓会入会金・終身会費については、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時に納入されていれば、不要です。

「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」と 「人権問題相談窓口」について

2001年4月に「人権センター」が設置され、部落差別の問題や民族差別、障害者差別、性差別など、あらゆる形の人権侵害の問題に関する教育、研究、啓発を行っています。

また、セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）についても、これは重大な人権侵害であるという認識に立って、このような事態の起こらぬよう、学習会や文書による啓発などを行っています。それが性差別であるとの認識がまだ充分には定着していない現状があります。セクシュアル・ハラスメントは、先輩・後輩、教職員・学生など、力関係を背景にしておこされることが多く、その被害にあった場合は、学問研究の意欲を失わせたり、生きていく力を削がれたりさえます。しかし、加害者側の認識が足りないだけでなく、被害を受けた側も、それを訴えることで人間関係が崩れることを恐れたり、自分の側に非があるように思いこんだりすることによって、泣き寝入りしてしまったりということもあります。

大谷大学では、誰もが安心して教育を受け、研究を進めていけるように、「大谷大学におけるセクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」を策定しています。よく読んでいただき、問題の認識を深めるとともに、万一、セクシュアル・ハラスメントの被害にあったりした時は、「人権問題相談窓口」をご利用ください。

「人権問題相談窓口」は、セクシュアル・ハラスメントの問題だけでなく、どんな形の人権問題であれ、秘密を厳守して相談に応じていますので、気軽にご利用ください。なお、人権問題相談窓口と相談員については、「学生手帳」(75ページ)に掲載しています。

2001年4月1日

大谷大学セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン

大谷大学人権委員会

1. 目的

このガイドラインは、大谷大学（大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院を含む。以下、「本学」という。）の構成員であるすべての学生（科目等履修生・聴講生・外国人留学研究生・研修員・公開講座の受講生等、本学で教育を受けるすべての者を含む。）及びすべての職員（契約職員・兼任職員・アルバイト職員等、本学で就労するあらゆる形態の者を含む。）が相互に人権を尊重し、修学、就労、教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持するため、セクシュアル・ハラスメントの防止とその対応策について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基本方針

セクシュアル・ハラスメントは不当な性差別であり、個人の尊厳を損ない人権を侵害する行為である。本学は、本学の建学の精神及び日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約等の精神に則り、セクシュアル・ハラスメントの防止に努めるとともに、セクシュアル・ハラスメントが発生した場合に適正な対応と諸施策を講じる責務を負う。

すべての本学構成員は、このガイドラインの目的を理解し、セクシュアル・ハラスメントの防止とその解決に努めなければならない。

このガイドラインは、本学に係るすべての者を対象とする。

3. セクシュアル・ハラスメントの定義

セクシュアル・ハラスメントとは、修学、就労、教育及び研究上の関係において、相手の意に反する性的な言動によって、修学、就労、教育及び研究上の不利益や利益を与え、又は修学、就労、教育及び研究上の環境を悪化させることをいう。

性的な言動とは、性的な関心や欲求に基づく言動をいい、性的な文書や図画の掲示や、性別により固定的な役割を分担すべきとする意識に基づく言動も含む。

不利益や利益とは、性的な欲求への服従又は拒否を理由に、進学、進級、成績評価及び教育・研究上の指導等を受ける際の取り扱いにおける不利益や利益、また、昇任、配置換え等の任用上の取り扱いや、昇格、昇給、諸手当等の給与上の取り扱いに関する不利益や利益、また、誹謗中傷を受けることその他事実上の不利益や利益をいう。

環境の悪化とは、セクシュアル・ハラスメントによって、修学、就労、教育及び研究に専念し難い程度に環境が不快なものになることをいう。

セクシュアル・ハラスメントの存在の有無の判断は、行為者本人の意図に関わらず、その行為が相手の意に反したものであるかどうかによる。

4. セクシュアル・ハラスメントに対する心がまえ

(1) 教員と学生の関係において、教員は成績評価や単位認定等に関わる重要事項についての権限を有している。したがって、そのことがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

また、職員を指揮・監督する地位にある者と指揮・監督される地位にある者との関係においても、役職の上下関係そのものがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

(2) セクシュアル・ハラスメントを起こさないためには、お互いの人格を尊重し、お互いが大切なパートナーであるという意識をもつことである。

したがって、相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識をなくすこと、また、異性を劣った性として見る意識をなくすことが大切である。そして、相手を不快にさせる性的な言動や、性的な誘いかけと受け取られうる言動、性的に好意的な態度を要求していると受け取られうる言動等を避けるように心懸けるべきである。

また、セクシュアル・ハラスメントは異性間のみならず、同性間においても生じることに留意すべきである。

(3) セクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合は、相手に対して明確に拒否の意思表示をすることが望まれる。

明確な意思表示ができない場合は、その日時、場所、状況等について記録（メモ）を取り、信頼できる人に話しておく。また、自らがどのように対応したかも記録（メモ）に取っておく。できれば相談窓口で相談員に相談する。

セクシュアル・ハラスメントの場面を見聞きした場合や、被害者から相談を受けた場合は、できるだけ被害者の力になり、相談窓口に行くように勧める。セクシュアル・ハラスメントの被害にあったと感じた人は、自分にも落ち度があったとか、その場で意思表示できなかったなどと自分を責める必要はない。

(4) 性に関する言動に対する受け止め方には、個人や男女間で差がある。したがって、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについては、セクシ

ュアル・ハラスメントを受けた者の判断が重要である。

したがって、親しさを表すつもりで言動が相手を不快にさせる場合のあること、この程度のことは相手も許容するだろうと勝手に臆測しないこと、相手と良好な人間関係ができていると勝手に思い込まないこと等に注意しなければならない。

また、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについて、セクシュアル・ハラスメントを受けた者からいつも意思表示があるとは限らないことを十分に認識すべきである。状況や立場によって拒否の意思表示ができないことも少なくなく、それを同意や合意と勘違いしてはならない。

- (5) 本学構成員はセクシュアル・ハラスメントが発生しないように、修学、就労、教育及び研究上の良好な環境を維持するために、日頃から注意する必要がある。

また、学外や職務時間外におけるセクシュアル・ハラスメントにも注意しなければならない。

さらに、本学構成員間のセクシュアル・ハラスメントに注意するだけでは不十分であり、関係する学内外者との関係にも注意する必要がある。

5 . セクシュアル・ハラスメントになり得る言動の例

- (1) 教室・研究室・職場の内外で起きやすいもの

A . 性的な内容の発言等

a . 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・スリーサイズを聞く等、身体的特徴を話題にすること
- ・卑猥な冗談を交わすこと
- ・体調が悪そうな女性に「今日は生理日か」、「もう更年期か」等と言うこと
- ・「彼とはどんな関係か」等と、性的経験や性生活について質問すること
- ・「結婚しているのか」、「離婚したのか」等としつこく聞くこと
- ・性的なうわさを流したり、性的なからかいの対象とすること
- ・授業内容と関係のない性的な話題を授業中に持ち出すこと

b . 性別により差別しようとする意識に基づくもの

- ・「男のくせに根性がない」、「女には仕事を任せられない」、「女性は職場の花でありさえすればいい」、「女は学問などしなくてもよい」等と発言すること
- ・成人に対して、「男の子」、「女の子」、「僕、坊や、お嬢さん」、「おじさん、おばさん」等と人格を認めないような呼び方をすること

B . 性的な行動等

a . 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・ヌードポスター等を研究室や職場に貼ること
- ・雑誌等の卑猥な写真・記事等をわざと見せたり、読んだりすること
- ・職場のパソコンのディスプレイに卑猥な画像を表示すること
- ・身体を執拗に眺め回すこと
- ・食事やデートにしつこく誘うこと
- ・性的な内容の電話をかけたり、性的な内容の手紙、Eメールを送りつけること
- ・身体に不必要に接触すること
- ・不必要な個人指導を行うこと
- ・浴室やトイレ、更衣室等をのぞき見すること

b . 性別により差別しようとする意識等に基づくもの

- ・女性であるというだけでお茶くみ、掃除、私用等を強要すること
- ・女性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること
- ・男性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること

- (2) 主に教室・研究室・職場の外において起きやすいもの

a . 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・性的な関係を強要すること
- ・ゼミやクラス、クラブ、サークル、職場等の旅行の宴会の際に浴衣に着替えることを強要すること
- ・出張への同行を強要したり、出張先で不必要に自室に呼ぶこと
- ・自宅までの送迎を強要すること
- ・住居等まで付け回すこと

b . 性別により差別しようとする意識等に基づくもの

- ・カラオケでのデュエットを強要すること
- ・酒席で、指導教員、上司等のそばに座席を指定したり、お酌やチークダンス等を強要すること

6 . セクシュアル・ハラスメント防止のための施策

- (1) 本学は、セクシュアル・ハラスメントが起きやすい環境や慣習がある場合、それを改善するとともに、セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発活動を行う。

- (2) 本学は、すべての本学構成員を対象としたセクシュアル・ハラスメント防止に関する研修又は学習活動を行う。

- (3) 本学は、本学における人権教育・研究に関する大綱を定め人権問題（セクシュアル・ハラスメントなどの性差別問題をはじめ、部落差別問題、民族差別問題、障害者差別問題等）全般に関する事項を審議する人権委員会を置く。

- (4) 本学は、本学の人権教育・研究・啓発を推進すること及び教育・研究の場にふさわしい環境づくりを推進することを目的とする人権センターを置く。

- (5) 本学は、人権問題全般にわたる教育・研究・啓発に関する具体的事項を企画立案し、これを推進することを目的とする人権教育推進委員会を置く。

- (6) 本学は、人権センター内に人権問題相談窓口を設置し、相談員を置く。相談窓口では、セクシュアル・ハラスメントの相談をはじめ、その他の人権問題全般に関する相談に対応する。

- (7) 本学は、セクシュアル・ハラスメントをはじめ、その他の人権侵害等に関する問題が生じた場合、人権問題調査委員会を設置する。

2003年度 同窓会支部総会・支部巡回講演会開催一覧

支部名	開催日	講師
函 館	7月23日(水)	延塚 知道 教 授
小 樽	7月25日(金)	延塚 知道 教 授
札幌・岩見沢・夕張	7月26日(土)	延塚 知道 教 授
砂川・芦別	7月25日(金)	小谷信千代 教 授
室 蘭	7月24日(木)	延塚 知道 教 授
深 川	7月24日(木)	小谷信千代 教 授
旭 川	7月22日(火)	小谷信千代 教 授
十 勝	7月26日(土)	木場 明志 教 授
網 走	7月27日(日)	木場 明志 教 授
紋 別	7月24日(木)	木場 明志 教 授
名 寄	7月23日(水)	小谷信千代 教 授
釧 根	7月25日(金)	木場 明志 教 授
青 森	9月3日(水)	小谷信千代 教 授
秋 田	9月4日(木)	小谷信千代 教 授
岩 手	9月8日(月)	小野 蓮明 教 授
宮 城	9月9日(火)	小野 蓮明 教 授
山 形	9月5日(金)	小谷信千代 教 授
福 島	9月10日(水)	小野 蓮明 教 授
茨 城	9月8日(月)	宮下 晴輝 教 授
栃 木	8月7日(木)	木越 康 助 教 授
群 馬	9月9日(火)	宮下 晴輝 教 授
埼 玉	9月6日(土)	延塚 知道 教 授
千 葉	9月7日(日)	宮下 晴輝 教 授
東 京	8月6日(水)	池上 哲司 教 授
神 奈 川	8月5日(火)	池上 哲司 教 授
山 梨	8月8日(金)	木越 康 助 教 授
信濃学友会	9月5日(金)	門脇 健 教 授
静 岡	9月8日(月)	小川 一乗 学 長
三 為 会	8月22日(金)	小谷信千代 教 授
尾張学友会	9月9日(火)	小川 一乗 学 長
三 重	9月11日(木)	小川 一乗 学 長
大 垣	7月2日(水)	支 部 総 会 の み
岐 阜	8月26日(火)	小谷信千代 教 授
郡 上	7/30・31(水・木)	木場 明志 教 授
飛 騨	8月23日(土)	小谷信千代 教 授
三 条	9月3日(水)	門脇 健 教 授

支部名	開催日	講師
上 越	9月4日(木)	門脇 健 教 授
富 山	8月22日(金)	神戸 和麿 教 授
高 岡	8月26日(火)	禿 憲仁 助 教 授
金 沢	8月20日(水)	神戸 和麿 教 授
能 登	8月23日(土)	神戸 和麿 教 授
小 松	8月21日(木)	神戸 和麿 教 授
大 聖 寺	8月25日(月)	禿 憲仁 助 教 授
福 井	8月27日(水)	禿 憲仁 助 教 授
長 浜	8月3日(日)	寺林 脩 教 授
湖 東	9月13日(土)	寺林 脩 教 授
湖 南	8月31日(日)	門脇 健 教 授
湖 西	8月25日(月)	支 部 総 会 の み
丹 但	8月30日(土)	池上 哲司 教 授
島 根	7月20日(日)	木場 明志 教 授
大阪4支部	9月12日(金)	池上 哲司 教 授
神戸・阪神	8月23日(土)	寺林 脩 教 授
和 歌 山	8月24日(日)	寺林 脩 教 授
奈 良	9月7日(日)	池上 哲司 教 授
播 磨	9月11日(木)	寺林 脩 教 授
岡 山	9月2日(火)	小川 一乗 学 長
福 山	9月6日(土)	安富 信哉 教 授
広 島	9月4日(木)	安富 信哉 教 授
山 口	8月31日(日)	佐々木令信 教 授
四 国	9月5日(金)	安富 信哉 教 授
福 岡	8月22日(金)	小川 一乗 学 長
久 留 米	8月30日(土)	禿 憲仁 助 教 授
佐 賀	8月26日(火)	木場 明志 教 授
大 分	8月29日(金)	禿 憲仁 助 教 授
北 九 州	9月4日(木)	木場 明志 教 授
長 崎	8月25日(月)	木場 明志 教 授
熊 本	8月27日(水)	木場 明志 教 授
宮 崎	9月6日(土)	木場 明志 教 授
鹿 児 島	9月5日(金)	木場 明志 教 授

2003年度 父母兄弟懇談会開催一覧

名称	開催日	開催地	会 場
奈良地区父母兄弟懇談会	7月5日(土)	奈 良 市	三井ガーデンホテル奈良
中国地区父母兄弟懇談会	7月11日(金)	松 江 市	松 江 東 急 イ ン
	7月12日(土)	岡 山 市	岡 山 口 イ ヤ ル ホ テ ル
全国父母兄弟懇談会	9月27日(土)	京 都 市	大 谷 大 学
信越地区父母兄弟懇談会	12月5日(金)	長 野 市	ホテルメトロポリタン長野
関東地区父母兄弟懇談会	12月6日(土)	東京都新宿区	新宿ワシントンホテル

2003年度 春季大会結果

【団体成績】

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
サッカー部 関西学生サッカー連盟春季リーグ 部Bブロック6位	4月6日(日)	大阪大学	2 - 0	大阪大学
	4月12日(土)	大阪教育大学	0 - 4	大阪教育大学
	4月13日(日)	神戸大学	1 - 2	奈良産業大学
	4月20日(日)	奈良産業大学	0 - 1	大阪学院大学(千里山G)
	4月27日(日)	大阪学院大学	0 - 2	"
	4月29日(火)	神戸商科大学	3 - 1	大阪教育大学
	5月3日(土)	龍谷大学	1 - 1	大谷大学湖西キャンパス
	5月5日(月)	神戸国際大学	3 - 0	"
	5月11日(日)	神戸学院大学	1 - 0	大阪学院大学(千里山G)
	硬式野球部 京滋大学野球連盟春季リーグ戦 部4位	4月13日(日)	京都学園大学	0 - 4
4月14日(月)		"	1 - 5	太陽が丘球場
4月19日(土)		佛教大学	5 - 5	西京極球場
4月21日(月)		"	2 - 12	太陽が丘球場
4月22日(火)		"	5 - 8	佛教大学(園部G)
5月3日(土)		花園大学	6 - 3	草津グリーンスタジアム
5月4日(日)		"	3 - 2	"
5月17日(土)		京都教育大学	1 - 2	太陽が丘球場
5月18日(日)		"	2 - 0	"
5月19日(月)		"	4 - 1	京都学園大学
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス連盟 春季リーグ戦 部Dリーグ優勝 部Cリーグ昇格	4月27日(日)	姫路工業大学	5 - 0	花園大学
		帝塚山大学	5 - 0	"
		花園大学	5 - 0	"
ソフトテニス部(女子) 関西学生ソフトテニス連盟 春季リーグ戦 部2位	4月29日(火)	甲南大学	1 - 2	京都外国語大学
		京都外国語大学	2 - 1	"
		羽衣女子短期大学	2 - 1	"
バレーボール部(男子) 関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 部優勝 6部昇格	4月20日(日)	京都府立大学	3 - 1	神戸学院大学
	4月27日(日)	和歌山大学	3 - 0	京都精華大学
	5月4日(日)	大阪国際大学	3 - 1	京都薬科大学
	5月5日(月)	京都薬科大学	3 - 0	"
	5月11日(日)	兵庫教育大学	3 - 0	京都府立大学
	5月18日(日)	滋賀大学	3 - 0	京都薬科大学
バレーボール部(女子) 関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 部6位	4月20日(日)	滋賀大学	0 - 3	奈良女子大学
	4月27日(日)	大阪女子大学	3 - 0	奈良大学
	5月4日(日)	大阪芸術大学	0 - 3	大谷大学本部キャンパス
	5月5日(月)	神戸女子大学	2 - 3	"
	5月11日(日)	京都文教短期大学	0 - 3	奈良大学
	5月18日(日)	奈良女子大学	0 - 3	滋賀大学
バドミントン部(男子) 関西学生バドミントン連盟 春季リーグ戦 部Cブロック3位	5月11日(日)	京都教育大学	2 - 3	大谷大学本部キャンパス
		神戸市外国語大学	3 - 2	"
	5月17日(土)	大手前大学	0 - 5	大手前大学
	5月18日(日)	近畿大学生理工学部	4 - 1	京都教育大学
	5月10日(土)	摂南大学	1 - 4	摂南大学
バドミントン部(女子) 関西学生バドミントン連盟 春季リーグ戦 部Bブロック5位	5月17日(土)	大阪市立大学	2 - 3	"
		大阪国際大学	0 - 5	大谷大学本部キャンパス
		甲南大学	0 - 5	"
	5月24日(土)	神戸女学院大学	5 - 0	"
	5月27日(火)	花園大学	3 - 0	東淀川体育館
卓球部(男子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 部Aリーグ 5位	5月3日(土)	京都工芸繊維大学	1 - 3	尼崎市記念公園総合体育館
	5月4日(日)	大阪産業大学	2 - 3	"
	5月5日(月)	奈良産業大学	3 - 2	"
	5月10日(土)	摂南大学	0 - 3	松下電器体育館
		京都府立大学	1 - 3	"
卓球部(女子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 部Aリーグ 2位	5月3日(土)	大阪教育大学	3 - 1	尼崎市記念公園総合体育館
	5月4日(日)	甲南大学	3 - 0	"
	5月5日(月)	関西大学	2 - 3	"
	5月10日(土)	大阪大学	3 - 0	松下電器体育館
	5月10日(土)	京都教育大学	3 - 1	"

【個人成績】

硬式野球部
 <京滋大学野球連盟春季 部リーグ戦>
 於 太陽が丘球場他(4月5日~5月25日)

首位打者賞
 井上陽次郎
 (文学部人文情報学科 第2学年)

打撃ベストテン 第2位
 谷 秀 平
 (文学部国際文化学科 第3学年)

ベストナイン 二塁手
 谷 秀 平
 (文学部国際文化学科 第3学年)

ベストナイン 指名打者
 井上陽次郎
 (文学部人文情報学科 第2学年)

特別賞
 阿久根 仁
 (文学部文学科 第2学年)

谷大エリア散策

第12回 相原ビルさん

烏丸北大路北東角に50年以上続く居酒屋「千鶴香」をはじめ、「は～ぶ亭」「とれびあん」など、谷大生にはおなじみのお店を経営しておられる相原ビルのオーナー・相原千鶴香さんとマネージャーの相原満さんにお話を伺いました。



相原満さんと相原千鶴香さん

それぞれのお店はいつ頃から

昭和23年の7月に居酒屋「千鶴香」を開きました。この場所にナカトクさんというお酒屋さんと「千鶴香」が隣り合っていたんです。

グリル・喫茶の「とれびあん」は昭和40年、ナカトクさんの跡に開きました。昭和48年に5階建てのビルに建て替えて、昭和56年の5月26日に「千鶴香」を地酒の店として新装オープンしました。ちょうど市営地下鉄が開通する3日前なんです。地下鉄よりちょっとでも早くしよう、と工事を急いでもらったんですよ。鍋料理の店「は～ぶ亭」をオープンしたのは平成7年です。2・3階で「伊与鶴」という和食の店をやっていたこともあります。

「は～ぶ亭」さんはどんなお鍋料理がありますか

一番人気はちゃんこ鍋で、一人前1800円です。他に1500円でとりとん鍋もあり、この2つは特に学生さんに人気ですね。しっかり飲んでも3000円以内で収まりますから。うちは「飲み放題」はやっていないんです。飲み放題だと時間限定にする店が多いんですが、1時間くらいだと盛り上がりかけて終わってしまいま

す。うちでは20人以上なら貸し切りになるので、ゆっくり飲んで、しゃべって、楽しんでもらうようになっています。

谷大生はよく利用していますか

大谷大学の方は上得意さんですね。クラブのコンパ、新歓、卒論の打ち上げなど、たくさん利用していただいています。箏曲部さんは演奏会の後の打ち上げなど、年2、3回必ずお越しいただいていますよ。卓球部さんもよく来ていただきますね。ゼミでは安富先生と小野先生のゼミが両横綱かな。職員の方では総務部さんと教務部の方がよく利用してくださってます。

谷大生との付き合いについて

(千鶴香さん)もうここで50年以上もやっているんですから、ありすぎて思い出せないくらいです。学生さんの名前も顔も本当にたくさん覚えてはいるんですが、かえってすぐ出てこないんですよ。

(満さん)昔は町内会も学園祭に参加させてもらっていたんです。10年くらい前、町内の副理事長をしていたときですが、学園祭の女装コンテストのために、知り合いの「プロ」の人に審査員として来てもらったことがあるんですよ。以前は木屋町に別の店を持っていたので、そういう知り合いもいたんです。面白かったですね。他にも「舞妓さんと写真を撮ろう」というイベントをやって、上七軒から舞妓さん2人に来てもらったこともありますよ。

商店街から模擬店を出したこともあります。かえって学生さんのお店の邪魔になるのでは、と撤退しました。でも今後「こういう店を出して」とリクエストがあればぜひ参加させてもらいたいですね。うちではけっこう傘の忘れ物が多いんですが、例えばチャリティの「忘れ物バ

ザー」をして、売り上げはユニセフに寄付するとか、考えたいです。

ご近所との交流の機会を増やすには、どんなことが必要でしょうか

もっと大学を開放して、入りやすくしてもらえたらなあと思います。例えば「大谷大学友の会」のようなものを作り、年会費を払って会員カードをもらう。それを見せれば自由にキャンパスに入れて、図書館で本も貸し出してもらえ、講演会にも入場できるとかね。この近所は比較的高齢の方が多いのですが、学問への関心が高くて、機会があれば大学を利用したいと思っている人は多いんです。そういう試みをすれば、きっとたくさん人は集まると思えますよ。

また、響流館にせっかく素晴らしい展示室ができたのですから、例えば全国の東本願寺系のお寺の寺宝展をやってもらい、一般の人にも見てもらうとか。いろいろ企画していただきたいですね。

大谷大学はとて素晴らしいものを持っている大学だと思うんです。宗教的なものを中心に置いて、そこからいくらでも広がっていけると。それは学部を増やしたり、総合大学になるという意味ではなくて、精神的な広がりです。社会学や幼児教育など、今の社会に必要なものを反映できると思いますよ。こういうことをもっと外にわかってもらえればね。



相原ビルの入口

ありがとうございました

写真でふりかえる
大谷大学今昔



中村不折



清沢満之



南条文雄



佐々木月樵

清沢満之・南条文雄・佐々木月樵の肖像画と中村不折

佐々木 令 信

大谷大学講堂の舞台上方に、3人の肖像画が掲げられている。向かって左から大谷大学初代学長清沢満之、第2代学長南条文雄、第3代学長佐々木月樵である。

肖像画の作者は、明治から昭和初期にかけて活躍した近代洋画界の巨匠・中村不折。不折について『広辞苑』(第5版)には、

洋画家・書家。本名、鉦太郎。江戸生れ。初め南画を学び、のち小山正太郎らに洋画を学ぶ。渡仏してローランス(J.P.Laurens 1838-1921)に師事。帰国後、太平洋画会で活躍。歴史画を得意とした。また、六朝書道を研究。書道博物館を創設。(1866-1943)

不折と満之の出会い、明治33(1900)年暮れ、雑誌『精神界』の創刊にさかのぼる。東京本郷森川町の浩々洞に拠点を置き、高浜虚子の紹介で表紙と欄首の挿絵を担当したのが当時新進気鋭の不折である。

清沢満之の肖像画は、満之の3回忌にあたって作成されたもので、明治38年5月発行の『精神界』第5巻第5号には、

清沢先生の肖像を真宗大学の講堂に掲げんとて中村不折に揮毫を依頼致候。来月先生の三周忌命日までに出来る事ならんと存候。

とみえている。除幕式は、講堂において6月6日午前10時から、3回忌が午後1時より行われた。

南条文雄の肖像画は、大学における大正8(1919)年5月18日、古稀記念会の時のもので、月樵のすすめで不折の画がかざられ、ヒマラヤ杉の植樹が行われた。

3人の肖像画は、『精神界』以来の不折と清沢門下「浩々洞の三羽鳥」の一人、月樵との出会いとその後の交友関係によるものであった。例えば、月樵は『親鸞伝絵記』を不折の挿絵で出版した。我々はもつと当時のネットワークに心をいたすべきである。

(わたさき れいしん 教授 日本仏教史)

出版物紹介

『さととすくい-涅槃経を読む-』

小川 一乗 著
春秋社刊 (2003. 3) 278頁



『幼年童話論ノート』

藤本 芳則 著
金壽堂出版刊 (2003. 5) 180頁



『欲望の哲学-浄土教世界の思索-』

長谷 正當 著
法蔵館刊 (2003. 6) 326頁



『社会福祉の基礎理論』

安井 喜行、林 博幸 編著
山下 憲昭 分担執筆
ミネルヴァ書房刊 (2002. 5) 253頁

『週刊 日本遺産 No.29』

豊島 修 分担執筆
朝日新聞社刊 (2003. 5) 35頁

『タイを知るための60章』

綾部 恒雄、林 行夫 編著
高井 康弘 分担執筆
明石書店刊 (2003. 5) 343頁

『道徳 は教えられるのか?』

土戸 敏彦 編
田中 裕喜 分担執筆
教育開発研究所刊 (2003. 5) 242頁

『アメリカン・スタディーズ入門』

町田 哲司、片渕 悦久 編著
林 奈美子 分担執筆
萌書房刊 (2003. 5) 261頁

「大谷大学広報03 - 秋」発行のお知らせ

「大谷大学広報03 - 秋」の発行を11月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

博綜館ピロティエー（博綜館入口横） 学内食堂 各研究室 至誠館（学生課カウンター前） 1号館1階 2号館1階

お詫び

前号の『大谷大学広報春号』の中で誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

新任教職員の紹介

(誤) 礪波 護 前京都大学教授 前京都大学文学部長兼文学研究科長
(正) 礪波 護 元京都大学教授 元京都大学文学部長兼文学研究科長 前大谷大学教授

(誤) 長谷正當 前京都大学教授
(正) 長谷正當 元京都大学教授 前大谷大学教授

(誤) 平野寿則 歴史学(日本近代史・仏教史)
(正) 平野寿則 歴史学(日本近世史・仏教史)

出版物紹介

(誤) 『熊野本願所史料』 清水堂刊 (2003. 2) 934頁
(正) 『熊野本願所史料』 清文堂刊 (2003. 2) 934頁

大谷中学校・高等学校からのお知らせ

【今熊野セミナー】

中学・高校では、生徒の保護者の方々や近隣の方々にお集まりいただきまして、真城義磨学校長の講話をもとに、お話し合いしていただく中から、生徒たちのより良い成長を共に考えていく【今熊野セミナー】を開催しております。

第1回 2003年6月12日(木)
午後2時より
テーマ「人間に生まれた意味がある」

第2回 2003年7月17日(木)
午後2時より
テーマ「死すべき者として」

第3回 2003年10月3日(金)
午後2時より
テーマ「未定」

第4回 2003年12月5日(金)
午後2時より
テーマ「未定」

第5回
2004年2月19日(木)
午後2時より
テーマ「未定」

場所 全て大谷中・高等学校第一会議室

【オープンキャンパス&学校説明会】

本校へ入学を希望する小学生・中学生、そして保護者の方々を対象に開催いたします。一般の方々もご参加いただけます。(申込手続きは不要)

日 時 2003年7月31日(木)
午前9時30分～午後12時00分
内 容 説明会 [高校・中学]
講堂にて、その後施設・
クラブ見学、個人相談な
ど。

【学校見学会・入試相談会】
2003年10月20日(月)～10月22日(水)
いずれも、午後1時30分～午後5
時00分まで。

【学校見学会・入試相談会】
2003年11月1日(土) - 講堂にて
午後2時00分～午後3時00分(中学)
午前10時30分～午前11時30分(高校)
その後個人相談に応じます。

2003年12月6日(土) - 講堂にて
午前10時30分～午前11時30分(中学)
午後2時00分～午後3時00分(高校)
その後個人相談に応じます。

お問い合わせは
大谷中学・高等学校へ
☎ 075-541-1312

九州大谷短期大学からのお知らせ

九州大谷短期大学演劇放送コース
二年生 中間発表

『ブンナよ、木からおりてこい』

作：水上 勉
演出・美術：五十嵐康治
照明：稲田智治
音響技術：今村和雄
振付：齊藤 彰

あらすじ
トノサマがえるのブンナは、跳
躍と木登りが得意で大の冒険好
き。高い椎の木のでっぺんに登っ

たばかりに、恐ろしい事件に会い、
世の中の不思議を知った。生きて
あるとは、かくも尊いものなのか
……

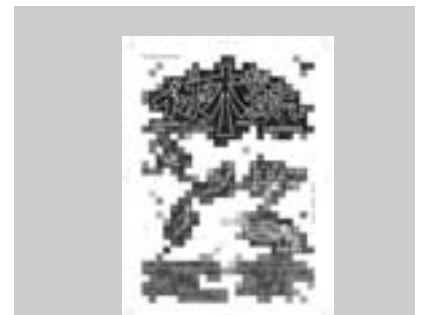
学内公演
とき 7月19日(土) 19:00～
7月20日(日) 14:00～
ところ 大学内 大谷小劇場

学外公演
とき 7月25日(金) 18:30～
7月26日(土) 15:30～
ところ サザンクス筑後小ホール
開場は開演の30分前です。

上演時間は、約1時間30分前です。

【入場無料】

お問い合わせ
九州大谷大学 演劇放送コース
TEL:0942-53-9894
〒833-0054 筑後市蔵数495-1



研究室だより

総合研究室から

7月、8月、9月の総合研究室の開室は以下のとおりです。定期試験、夏期休暇等により開室時間の変更があるので、注意してください。

定期試験による開室時間延長定期試験の1週間前となる7月15日から7月28日の平日（青字）は、閉室時間を30分延長し、20時閉室となります。

夏期休暇期間の開室日について夏期休暇期間は、平日のみの開室となり、通常の土曜日に準じた開室時間となります。集中講義が始まる9月8日から平常開室となります。

7月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

平日（黒字）は、9時開室 19時30分閉室 7月15日から7月28日の平日（青字）は9時開室 20時閉室
□ は、10時開室 17時30分閉室 ■ は、響流館の休館日。

8月1日(金)、2日(土)の両日は、オープンキャンパスのため、9時開室 17時30分閉室。

学会だより

大谷学会

秋季公開発表会を開催します。
日時 10月22日(水)3限、4限
会場 未定
発表者 木越 康助教授
豊住征子教授
東館紹見講師
間庭充幸教授

発表の題目、会場等は、掲示、ポスターにてご確認ください。

真宗学会

真宗学会大会
開催日 10月9日(木)
講演 マーク・ブラウン氏(ニューヨーク州立大学)
神戸和磨教授
詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。
真宗学会例会
開催日 7月1日(火)、10月14日(火)
詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

仏教学会

新入会員歓迎行事
奈良国立博物館特別展 インド・マトゥラー彫刻展 パキスタン・ガンダーラ彫刻展 鑑賞の日帰りバス旅行を開催します。
開催日 7月5日(土)

研究発表例会

開催日 10月17日(金)
発表者 吉元信行教授
中島小乃美氏
(本学大学院博士後期課程仏教学専攻 第3学年)
詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

宗教学会

大拙忌記念講演会を開催します。
日時 7月1日(火)16:10から
会場 尋源講堂
講演 『鈴木大拙と西田幾多郎』
藤田正勝氏
(京都大学大学院文学研究科教授)

社会学会

一泊または一日研修会を7月に開催予定です。
公開講演会を10月ごろに予定しています。

日本史の会

日本史の会大会・総会
日時 7月26日(土)13:30~
会場 メディア・ホール
発表者 東館紹見講師
高橋延定氏(水見市史編纂室職員)
武田朋宏氏(京都成章高等学校教諭)
高野弥和子氏
(池田市歴史民俗資料館学芸員)

日本史の会例会

日時 9月27日(土)14:00から
詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

文藝学会

公開講演会
日時 7月7日(月)13:00~16:00
会場 メディア・ホール
講演 「平野五岳と西郷南洲」
河内昭円教授
『万葉集』にみえる仏教的表現」
寺川眞知夫氏
(同志社女子大学教授・奈良県万葉古代学研究所長)

国文学会

国文学会講演会を9月27日(土)に開催します。

西洋文学研究会

年次大会
日時 7月26日(土)14:00から
1.総会
2.研究発表
小坂美樹:「アンドレ・ジッドの日記体小説」
西尾由利子:「臨界期の考察から考える外国語教育」

2003年度 後期 開放セミナー

異文化を知る 韓国・朝鮮の文化 食・芸能・祭事

講師 鄭 早苗（大谷大学教授） 他
 開講日 10月3日、17日、31日、11月14日、12月5日、12日 全6回
 時間 17：50～19：20
 受講料 6,000円
 申込〳切日 9月26日(金)

討入三百年 かたちは今も仮名手本 昔語を忠臣蔵

講師 沙加戸 弘（大谷大学教授）
 開講日 11月5日、12日、19日、12月3日、10日、17日 全6回
 時間 17：50～19：20
 受講料 6,000円
 申込〳切日 10月29日(水)

2003年度 後期 紫明講座

ビートルズの魅力

講師 米本 義孝（大谷大学教授）
 開講日 10月6日、20日、27日 全3回
 時間 17：50～19：20
 受講料 3,000円
 申込〳切日 9月29日(月)

ブツダの思想 仏教福祉の源流

講師 吉元 信行（大谷大学教授）
 開講日 11月13日、20日、12月4日 全3回
 時間 17：50～19：20
 受講料 3,000円
 申込〳切日 11月6日(木)

蓮如上人と山科本願寺 - 蓮如の思想と行動 -

講師 草野 顕之（大谷大学教授） 他
 開講日 10月11日、18日、25日 全3回
 時間 10：45～12：15
 受講料 4,500円（テキスト代込）
 申込〳切日 10月3日(金)

ボランティア活動入門講座

講師 山下 憲昭（大谷大学助教授）
 開講日 12月1日、8日、15日 全3回
 時間 17：50～19：20
 受講料 3,000円
 申込〳切日 11月25日(火)



湖西キャンパスセミナー

親子で水とたわむれる

講 師 中森 一郎 (大谷大学助教授)
 開 講 日 8月24日(日)
 時 間 14:00~16:00
 受 講 料 1,500円
 申込〆切日 8月8日(金)



湖西キャンパスセミナーハウス

人生の物語をふりかえる - 臨床心理からのアプローチ -

講 師 佐賀枝 夏文 (大谷大学教授)
 開 講 日 9月17日(水)
 時 間 13:00~15:10
 受 講 料 1,500円
 申込〆切日 9月10日(水)

渡来人と近江 歩いて学ぶ日朝交流の歴史

講 師 鄭 早苗 (大谷大学教授)
 朴 鐘鳴 (関西学院大学講師)
 開 講 日 10月25日(土)、26日(日)
 時 間 25日 13:00~15:10
 26日 12:00~17:00 (予定)
 受 講 料 6,000円 (バス代、拝観料、保険料含む) (予定)
 内 容 25日 朝鮮半島から渡来してきた人々が、どのような文化をもたらし、またどのように交流をしていったのかについて講義を行う。
 26日 25日の講義の中で取り上げた史跡のフィールドワークを実施する。
 申込〆切日 10月17日(金)



大谷大学博物館セミナー

古典籍の魅力 - 大谷大学の名品 -

開 講 日 第1回 9月27日(土)	
「天平文化の息吹 『判比量論』 」	宮崎 健司 助教授
「平安貴族の生活と信仰 『春記』 」	佐々木 令信 教授
第2回 10月4日(土)	
「空海とその時代 『高野雑筆集』 」	東館 紹見 講師
「空海とその時代 『三教指帰注集』 」	河内 昭円 教授
第3回 10月11日(土)	
「浄土教の展開 『選択本願念仏集』 」	三木 彰円 講師
「大陸の文物と碑文 『化度寺舍利塔銘』『信行禅師碑』 」	木村 宣彰 教授
時 間 14:00~16:10 (10/11のみ17:00)	
定 員 各回 60名	
受 講 料 1回 2,000円 3回通して受講の場合 5,000円	
申込〆切日 9月22日(月)	

受講をご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

FAX、Eメールにてお申込の際には、講座名、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、性別、年齢、職業を明記して下さい。

お問い合わせ先 教育研究支援課KO係

TEL: 075-411-8161(直通) / FAX: 075-411-8162 / E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

講座名は変更になる場合があります。

各講座の詳細については、7月下旬に教育研究支援課で配布するパンフレット、チラシでご確認下さい。

2004年度入学試験日程

【大谷大学文学部】

試験区分	学科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	真宗学科	10名	10月24日(金)～ 11月5日(水) (締切日消印有効)	11月23日(日)午前 11月24日(月)午前 (試験日自由選択制)	11月29日(土) A.M.10:00	第1次 12月12日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
	仏教学科	10名				
	哲学科	10名				
	社会学科	20名				
	史学科	10名				
	文学科	10名				
	国際文化学科	10名				
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	真宗学科	10名	10月24日(金)～ 11月5日(水) (締切日消印有効)	11月22日(土) 午前	11月29日(土) A.M.10:00	第1次 12月12日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
	仏教学科	10名				
	哲学科	10名				
	社会学科	20名				
	史学科	10名				
	文学科	10名				
	国際文化学科	10名				
一般入試[第1期] (3教科型)	真宗学科	16名	1月7日(水)～ 1月20日(火) (締切日消印有効)	2月4日(水) 2月5日(木) (試験日自由選択制)	2月14日(土) A.M.10:00	第1次 2月24日(火) 第2次 3月19日(金) (いずれも締切日消印有効)
	仏教学科	14名				
	哲学科	14名				
	社会学科	35名				
	史学科	20名				
	文学科	14名				
	国際文化学科	20名				
一般入試[第1期] (2教科型)	真宗学科	16名	1月7日(水)～ 1月20日(火) (締切日消印有効)	2月6日(金) 2月7日(土) (試験日自由選択制)	2月14日(土) A.M.10:00	第1次 2月24日(火) 第2次 3月19日(金) (いずれも締切日消印有効)
	仏教学科	14名				
	哲学科	14名				
	社会学科	25名				
	史学科	8名				
	文学科	14名				
	国際文化学科	20名				
一般入試[第2期]	真宗学科	4名	2月12日(水)～ 2月25日(水) (締切日消印有効)	3月7日(日) 午前	3月11日(木) A.M.10:00	3月19日(金) (締切日消印有効)
	仏教学科	4名				
	哲学科	4名				
	社会学科	8名				
	史学科	4名				
	文学科	4名				
	国際文化学科	5名				
一般入試 [大学入試センター 試験利用入試]	真宗学科	4名	1月7日(水)～ 1月16日(金) (締切日消印有効)	1月17日(土) 1月18日(日) 大学入試センター試験実施日 (本学での個別学力試験等 は課さない)	2月14日(土) A.M.10:00	第1次 2月24日(火) 第2次 3月19日(金) (いずれも締切日消印有効)
	仏教学科	4名				
	哲学科	4名				
	社会学科	8名				
	史学科	4名				
	文学科	4名				
	国際文化学科	5名				
第3学年推薦編入学	各学科	76名 以内 [注1]	9月12日(金)～ 9月26日(金) (締切日消印有効)	10月4日(土) 面接	10月10日(金)	第1次 10月24日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
第3学年一般編入学	各専門分野	若干名 [注2]	2月2日(月)～ 2月16日(月) (締切日消印有効)	2月28日(土)	3月5日(金) A.M.10:00	3月19日(金) (締切日消印有効)

【注1】 社会学科は社会福祉学分野・臨床心理学分野を除く。

人文情報学科は大谷大学短期大学部、九州大谷短期大学のみ。

【注2】 社会学科は社会福祉学分野・臨床心理学分野を除く。人文情報学科は募集しない。

【大谷大学短期大学部】

試験区分	学科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	仏教科	15名	10月24日(金)～ 11月5日(水) (締切日消印有効)	11月23日(日)午前 11月24日(月)午前 (試験日自由選択制)	11月29日(土) A.M.10:00	第1次 12月12日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
	文化学科	25名				
	幼児教育科	7名				
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	仏教科	10名	10月24日(金)～ 11月5日(水) (締切日消印有効)	11月22日(土) 午後	11月29日(土) A.M.10:00	第1次 12月12日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
	文化学科	25名				
	幼児教育科	7名				
一般入試[第1期]	仏教科	10名	1月7日(水)～ 1月20日(火) (締切日消印有効)	2月4日(水) 2月5日(木) (試験日自由選択制)	2月14日(土) A.M.10:00	第1次 2月24日(火) 第2次 3月19日(金) (いずれも締切日消印有効)
	文化学科	30名				
	幼児教育科	25名				
一般入試[第2期]	仏教科	5名	2月12日(水)～ 2月25日(水) (締切日消印有効)	3月7日(日) 午後	3月11日(木) A.M.10:00	3月19日(金) (締切日消印有効)
	文化学科	10名				

【大谷大学大学院】

試験区分	課程	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
秋季試験	修士課程	各専攻定員 の50%程度	9月12日(金)～ 9月26日(金) (締切日消印有効)	10月3日(金)筆記 10月4日(土)面接	10月10日(金) A.M.10:00	第1次 10月24日(金) 第2次 1月27日(火) (いずれも締切日消印有効)
			10月1日(水)～ 10月31日(金)	12月13日(土)	12月19日(金) A.M.10:00	1月27日(火)
外国人留学生入試	博士後期課程 修士課程	若干名 若干名	11月4日(火)～ 11月18日(火) (締切日消印有効)	12月13日(土)	12月19日(金) A.M.10:00	第1次 1月27日(火) 第2次 3月19日(金) (いずれも締切日消印有効)
春季試験	博士後期課程 修士課程	18名 各専攻定員 の50%程度	2月2日(月)～ 2月16日(月) (締切日消印有効)	2月27日(金)筆記 2月28日(土)面接	3月5日(金) A.M.10:00	3月19日(金) (締切日消印有効)
			2月2日(月)～ 2月16日(月) (締切日消印有効)	2月27日(金)筆記 2月28日(土)面接	3月5日(金) A.M.10:00	3月19日(金) (締切日消印有効)

学生相談室から

大きくなったら何になる？



就職活動に疲れた学生が相談室を訪れることがある。何社かを受験したけれど色よい返事がもらえない。自分は社会から必要とされていないと感じられて、ひどく傷ついてやってくる。焦りもある。ますます自分が見えなくなり、悩みと迷いばかりがつづいてくる。

社会という現場で、自分は何をしておくように生きていくのか。どんな役割を担うのか。進路選択は、卒業年次に急に持ちあがる問題ではない。

可能性が可能性のままである限り、それは無限に広がっているように感じられる。何にでもなれると夢想することもできる。しかし、可能性は「未然形」なのである。現実には力を持って生きていくには、何者かにならなければならない。社会に出る時に問われているのは、自分の限界を見極め、一つのあり方を選びとる覚悟、選んだものを引き受ける覚悟である。これは、生きていく上で今後求められるのであろう、責任をともなう選択の、最初の大きな一例なのである。

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1	谷口奈青理	10時30分～16時00分
		2		
	火曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
		2		
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時30分～16時00分
		2		
木曜日	1	讓 西賢	10時30分～16時00分	
	2			菊岡 千夏
金曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分	
	2			

自分の将来について多くの可能性を捨てなければならぬのだから、苦しい作業となるだろう。迷いや不安があつて当たり前である。不安に耐えつつ、時間をかけて、自分らしい選択ができるよう、学生相談室で共に考えてゆきたいと思っている。

(たにくち なおり
専任講師 臨床心理学)

谷口 奈青理

学 生 数

(2003年6月1日現在)

学部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	真宗学科	90	17	107	92	13	105	97	23	120	104	14	118	383	67	450
	仏教学科	88	27	115	97	13	110	92	26	118	62	21	83	339	87	426
	哲学科	66	36	102	61	45	106	59	46	105	95	43	138	281	170	451
	社会学科	86	114	200	85	117	202	82	113	195	65	113	178	318	457	775
	史学科	63	34	97	65	57	122	77	59	136	71	55	126	276	205	481
	文学科	31	66	97	53	56	109	44	81	125	46	72	118	174	275	449
	国際文化学科	44	78	122	51	87	138	41	92	133	45	91	136	181	348	529
	人文情報学科	79	55	134	70	44	114	53	53	106	62	45	107	264	197	461
	文学部合計	547	427	974	574	432	1006	545	493	1038	550	454	1004	2216	1806	4022
大学院	修士課程	53	12	65	55	24	79							108	36	144
	博士後期課程	14	5	19	12	13	25	13	6	19				39	24	63
	大学院合計	67	17	84	67	37	104	13	6	19				147	60	207
短期大学部	仏教科	37	18	55	35	10	45							72	28	100
	文化学科	25	137	162	31	102	133							56	239	295
	幼児教育科	3	75	78	7	80	87							10	155	165
	短期大学部合計	65	230	295	73	192	265							138	422	560
總 合 計	679	674	1353	714	661	1375	558	499	1057	550	454	1004	2501	2288	4789	

財務の概況

大谷大学 大谷大学短期大学部

- 大谷大学・大谷大学短期大学部 2002年度決算 -

2002年度決算は、公認会計士および監事の監査を受けた上で、5月23日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査・指導を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年決算承認後文部科学大臣に届け出ています。

2002年度資金収支計算書
(2002年4月1日～2003年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,964,584,000	人件費支出	2,746,355,210
手数料収入	240,523,100	教育研究経費支出	1,070,169,128
寄付金収入	455,135,062	管理経費支出	429,781,490
補助金収入	680,227,734	借入金等利息支出	47,970,675
資産運用収入	26,857,186	分担金支出	10,000,000
資産売却収入	0	借入金等返済支出	85,650,000
事業収入	16,883,975	施設関係支出	362,594,297
雑収入	112,791,436	設備関係支出	140,264,530
借入金等収入	10,226,000	資産運用支出	699,995,835
前受金収入	957,037,500	その他の支出	93,508,035
その他の収入	387,489,512		
資金収入調整勘定	1,057,670,411	資金支出調整勘定	34,786,237
前年度繰越支払資金	5,812,779,695	次年度繰越支払資金	6,955,361,826
収入の部合計	12,606,864,789	支出の部合計	12,606,864,789

2002年度消費収支計算書
(2002年4月1日～2003年3月31日) (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,964,584,000	人件費	2,722,111,895
手数料	240,523,100	教育研究経費	1,887,752,073
寄付金	472,722,344	(うち減価償却額)	(816,200,546)
補助金	680,227,734	管理経費	456,025,688
資産運用収入	26,857,186	(うち減価償却額)	(26,244,198)
資産売却差額	0	借入金等利息	47,970,675
事業収入	16,883,975	分担金	10,000,000
雑収入	112,791,436	資産処分差額	11,611,878
		消費支出の部合計	5,135,472,209
帰属収入合計	6,514,589,775	当年度消費収入超過額	786,148,733
基本金組入額合計	592,968,833	前年度繰越消費収入超過額	6,637,621,271
消費収入の部合計	5,921,620,942	翌年度繰越消費収入超過額	7,423,770,004

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応するすべての収入と支出の内容および支払資金の収入および支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には、負債となる借入金や次年度の授業料等の前受金なども含まれません。資金支出には、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出、貸付金支払支出などが含まれます。

2002年度では、旧図書館を教務部、学生支援部の事務室に改築したため、建物支出が3億円を超える額となっています。

消費収支計算書

消費収支計算書は、負債とならない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含むその年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストをあげ、バランスが取

れているかを見るものです。

教育研究活動を提供する学校法人は、継続的な維持がより一層重要視されています。そのためには、資金収支のつじつまが合っているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえるでしょう。これに対し、資金収支計算書は、当該年度1年の資金活動の安定性を見るものといえます。

2002年度の帰属収入では、学生生徒等納付金が約49億6000万円となり、帰属収入の76.2%を占めています。寄付金は、響流館建築のためにいただいたものが大半を占めています。消費支出では、人件費支出が約27億2000万円で消費支出全体の53.0%を占めています。教育研究活動や学生生活に直接関わる教育研究経費は、約18億8000万円を支出しており、消費支出の36.8%を占めています。

貸借対照表

(2003年3月31日)

(単位 円)

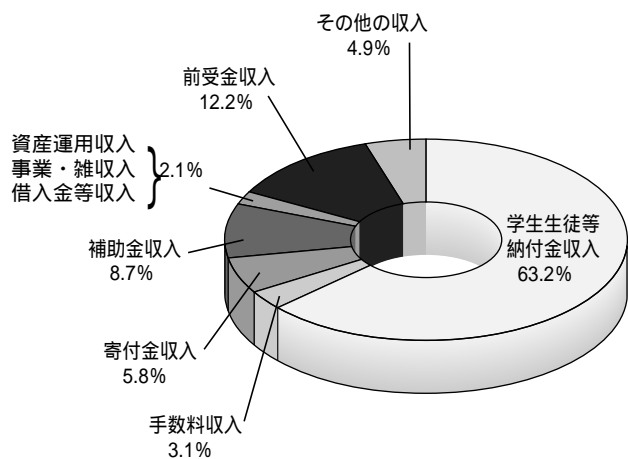
資産の部		負債及び基本金の部	
科目	2002年度末	科目	2002年度末
土地	7,895,139,063	長期借入金	1,903,376,000
建物	10,825,948,230	退職給与引当金	1,129,612,722
構築物	480,416,748	固定負債計	3,032,988,722
教育研究用機器備品	1,752,270,022	短期借入金	141,200,000
その他の機器備品	34,888,682	未払金	34,786,237
図書	2,770,050,226	前受金	957,037,500
車輜	3,406,731	預り金	88,804,750
電話加入権	4,741,272	流動負債計	1,221,828,487
施設利用権	538,531	負債の部合計	4,254,817,209
敷金	693,000		
長期貸付金	124,311,000	第1号基本金	26,065,163,037
引当特定資産	7,692,841,098	第2号基本金	0
固定資産計	31,585,244,603	第3号基本金	500,700,000
現金預金	6,955,361,826	第4号基本金	373,116,090
未収入金	76,667,911	基本金の部合計	26,938,979,127
前払金	0		
立替金	292,000		
流動資産計	7,032,321,737	翌年度繰越消費収入超過額	7,423,770,004
合計	38,617,566,340	合計	38,617,566,340

貸借対照表

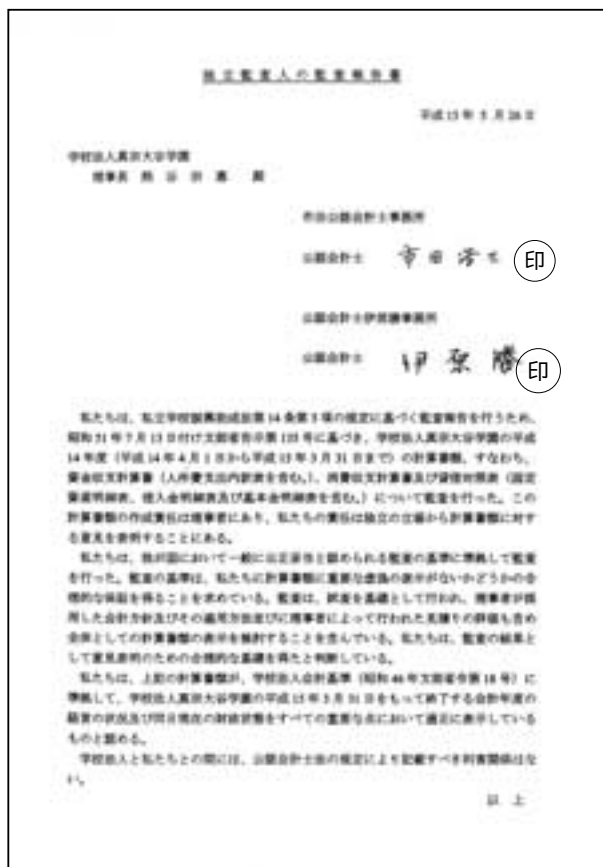
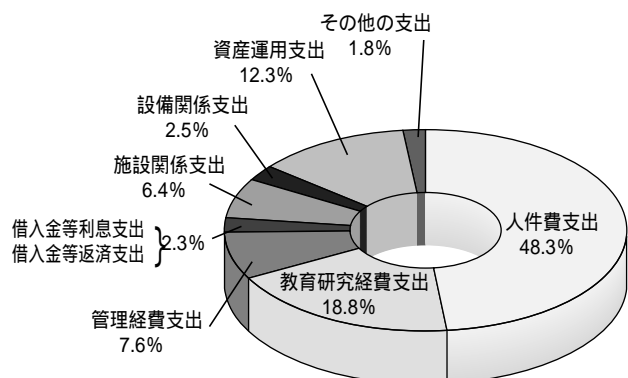
学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、膨大な施設や設備など各種の運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を示すものです。学校法人を継続的に維持するためには、必要な資金を保全し継続して運営するだけでなく、教育研究に必要な財産が適正に維持管理されているかどうかを確かめなくてはなりません。この貸借対照表はその意味で重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産とは、大学が保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となって出て行くものを示します。基本金は、大学が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。貸借対照表の資産の部合計から負債の部合計を引いた額が正味財産となります。

2002年度資金収支（収入の部）



2002年度資金収支（支出の部）



- 大谷大学・大谷大学短期大学部 2003年度予算 -

2003年度予算は、3月26日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において決定されました。

2002年度より、総合研究室、図書館およびメディアホールなどの施設を備える響流館の本格的な利用を始めました。これにより、「大谷大学樹立の精神」に示される教育理念を柱とした教育・研究が一段と向上できることが期待されています。響流館の整備は、2003年度以降も第2次整備として引き続き進めてまいります。10月には響流館内に新たに設置される博物館の開館を予定しており、展示設備の充実等、準備作業を進めています。大学が所蔵する貴重な資料を展覧し公開することにより、学生諸君への教育研究活動に大いに寄与するとともに、広く社会へ知的財産を公開する社会教育施設として機能いたします。

施設設備の整備としては、バリアフリー対策として、博綜館入口の自動ドア設置、および2号館、至誠館へのエレベーター設置を計画しています。また体育館北側の旧グラウンドの再整備を行い、学生諸君が有効に利用できるよう整備を進めています。情報提供の面では、設備が整ったことにより休講情報を携帯電話で確認できるシステムの構築など学生諸君への情報提供サービスも拡張させていきます。

その他にも教育研究活動の一層の充実をめざし、快適で安全なキャンパス環境を維持するよう努めていきます。

2003年度資金収支予算書
(2003年4月1日～2004年3月31日) (単位 円)

	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入...授業料や、実習の際に納めてもらう実習料です。	学生生徒等納付金収入	4,948,120,000	人件費支出	2,887,547,000
	手数料収入	210,280,000	教育研究経費支出	1,768,009,000
資産運用収入...預金の利息や大学の施設利用料などです。	寄付金収入	175,000,000	管理経費支出	547,329,000
	補助金収入	341,200,000	借入金等利息支出	44,270,000
	資産運用収入	27,799,000	分担金支出	10,000,000
事業収入...寮への入寮費や公開講座の受講料、就職講習の講習料などです。	資産売却収入	0	借入金等返済支出	141,200,000
	事業収入	16,952,000	施設関係支出	79,578,000
	雑収入	86,029,000	設備関係支出	192,790,000
	借入金等収入	0	資産運用支出	600,000,000
前受金収入...次年度入学者の入学金や授業料などです。	前受金収入	824,410,000	その他の支出	67,480,000
	その他の収入	294,731,000	予備費	20,000,000
その他の収入...貸与奨学金の返還金などです。	資金収入調整勘定	956,914,000	資金支出調整勘定	40,000,000
	前年度繰越支払資金	6,955,361,826	次年度繰越支払資金	6,604,765,826
	収入の部合計	12,922,968,826	支出の部合計	12,922,968,826

施設関係支出...土地や建物等の取得にかかる支出です。

設備関係支出...大学の資産となる備品の取得にかかる支出です。パソコンや図書などはこれにあたります。

資産運用支出...将来的な施設充実のために積立てるための支出です。

その他の支出...貸与奨学金の貸付金や前年度経費のうち年度を越えてから支払わなければならない支出の事です。

2003年度消費収支予算書
(2003年4月1日～2004年3月31日) (単位 円)

	消費収入の部		消費支出の部	
	科目	金額	科目	金額
手数料...証明書発行手数料や入学検定料などです。	学生生徒等納付金	4,948,120,000	人件費	2,831,328,000
	手数料	210,280,000	教育研究経費	2,587,727,000
寄付金...有志の方々に寄付していただいているものが主です。	寄付金	175,860,000	(うち減価償却額)	(819,718,000)
	補助金	341,200,000	管理経費	571,754,000
	資産運用収入	27,799,000	(うち減価償却額)	(24,425,000)
	資産売却差額	0	借入金等利息	44,270,000
補助金...国や京都市からの補助金です。	事業収入	16,952,000	分担金	10,000,000
	雑収入	86,029,000	資産処分差額	1,325,000
	帰属収入合計	5,806,240,000	予備費	20,000,000
			消費支出の部合計	6,066,404,000
			当年度消費支出超過額	609,411,000
	基本金組入額合計	349,247,000	前年度繰越消費収入超過額	7,423,770,004
	消費収入の部合計	5,456,993,000	翌年度繰越消費収入超過額	6,814,359,004

人件費...専任の教職員、非常勤講師、嘱託職員、アルバイト職員などの給与等です。

教育研究経費...教育や研究活動にかかる消耗品や通信費などの経費の事です。

管理経費...人事、総務、経理、職員の福利厚生や学生募集にかかる経費の事です。

(事務局長 藤坂初裕)

この頁は、音楽著作権に関する許諾の関係上、
Web上で表示できません。お読みになりたい
方は、下記にご連絡下さい。

kikaku@sec.otani.ac.jp